

# 川崎市国際交流センター

## 令和4年度 事業報告書

事業年度 自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

川崎市国際交流センター指定管理者

公益財団法人 川崎市国際交流協会・

株式会社東急コミュニティー共同事業体

## 目次

<b>I 情報収集・提供事業</b> .....	- 1 -
■1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業 .....	- 1 -
(1) 図書・資料室の運営 (2-7) .....	- 1 -
(2) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7) .....	- 3 -
(3) 情報ロビー、展示ロビー、談話ロビー、ギャラリーでの催事・展示 (2-7) .....	- 3 -
<b>II 広報出版事業</b> .....	- 5 -
■2 情報提供事業 .....	- 5 -
(1) 国際交流センターだより等の発行 (2-8) .....	- 5 -
(2) センターホームページの運営 (2-8) .....	- 7 -
(3) 各種メディアの活用 (2-8) .....	- 7 -
<b>III 講座・研修事業</b> .....	- 8 -
■1 日本語講座事業 .....	- 8 -
(1) 日本語講座 (2-1) .....	- 8 -
(2) 特別講座 (2-1) .....	- 9 -
(3) 生活にほんごサロン (2-1) .....	- 10 -
(4) 親子で学ぶ日本語サロン (2-1) .....	- 11 -
■2 国際理解講座事業 .....	- 11 -
(1) 国際文化理解講座「フィサンキを作りましょう」(2-3) .....	- 11 -
(2) 外国語による国際理解講座(2-2) .....	- 12 -
■3 ボランティア養成事業 .....	- 14 -
(1) 観光ボランティア通訳セミナー (2-2) .....	- 14 -
(2) 災害時支援ボランティア養成セミナー (2-2) .....	- 14 -
(3) 外国につながる子どもの学習支援サポーター研修 (2-1) .....	- 15 -
(4) 日本語講座ボランティア登録事前研修(2-1) .....	- 15 -

(5) 日本語講座ボランティア研修会(就労のための日本語講座開設に向けた研修)(2-1) .....	- 15 -
(6) 生活にほんごサロンサポーター養成研修(2-1) .....	- 16 -
(7) 生活にほんごサロンサポーター ブラッシュアップ研修(2-1) .....	- 17 -
(8) 親子で学ぶ日本語サロンサポーター養成・研修(2-1) .....	- 18 -
(9) ボランティア研修会(Zoom 活用セミナー②中上級編) .....	- 18 -

#### **IV 国際交流促進事業** .....

<b>■1 国際交流事業</b> .....	- 18 -
(1) 日本語スピーチコンテスト(2-5) .....	- 18 -
(2) 外国人市民・留学生交流事業(2-3) .....	- 19 -
(3) 世界の音楽会(魅惑の音楽紀行)(2-6) .....	- 20 -
<b>■2 多文化共生推進事業</b> .....	- 21 -
(1) 外国人市民と共生するまちづくりセミナー(2-3) .....	- 21 -
(2) 母語母文化継承支援事業(2-3) .....	- 21 -

#### **V 外国人相談事業** .....

<b>■1 外国人相談事業</b> .....	- 23 -
(1) センター相談事業(2-4) .....	- 23 -
(2) 相談実績 .....	- 23 -
(3) 相談支援(2-4) .....	- 24 -

#### **VI その他の事業** .....

<b>■1 国際交流センター設置目的に沿った事業</b> .....	- 26 -
(1) 外国につながる子どものための寺子屋(教育委員会事業 住吉小学校寺子屋分教室) .....	- 26 -
(2) 外国につながる子どものための寺子屋ブラッシュアップ研修 .....	- 26 -

#### **VII 施設運営及び維持管理業務** .....

(1) 国際交流センターの管理運営(JV) .....	- 27 -
(2) 施設整備 .....	- 30 -
(3) 市民共同おひさま発電所 .....	- 30 -

(4) 施設利用実績.....	- 31 -
(5) 収支状況.....	- 32 -
(6) 広告の掲載.....	- 32 -
<b>■個人情報の保護状況.....</b>	<b>- 32 -</b>
<b>■利用者アンケートの実施.....</b>	<b>- 33 -</b>
(1) 利用者アンケートの実施.....	- 33 -
(2) 外国人市民利用者アンケート.....	- 39 -
<b>■利用者等からの意見などに対する対応状況.....</b>	<b>- 46 -</b>
<b>■施設管理運営における事故等の対応状況.....</b>	<b>- 47 -</b>

# 令和4年度公2事業報告書（川崎市国際交流センター事業）

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

※事業名末尾の（ ）書きは、県申請時の「公益目的事業について」の【事業の内容】の頭書番号です。

## I 情報収集・提供事業

### ■1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業

#### (1) 図書・資料室の運営（2-7）

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営においては、図書・視聴覚資料、新聞、雑誌等、国際交流関係資料の充実を図り、一般の利用に供するため資料の整理を進めるとともに、利用者への情報提供を行った。

7月に図書・資料室内のレイアウト変更と利用方法の見直しを実施した。

利用者の利便性向上のため、カバン類の室内持込みを可とすることとし、それに伴い、利用者用ロッカーの数を半減し、空いたロッカーはリユース図書コーナーとして活用することとした。これまで不定期で行っていた雑誌等のリユースを、通年で行うことに変更した。

午前中の読み聞かせタイムのみ設置していた親子席を常設とし、親子席の近くに絵本を集約することで、利用しやすい空間の創出を図った。「よみきかせタイム」（声を出して本を読んでも良い時間）は従来通り午前中のみとし、午後は静かな利用をお願いすることで、時間帯によるゾーニングを行い、静かな環境を求める利用者にも配慮、多様なニーズに応えるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症対策のため、利用時間の短縮と席数減の対応を行っていたが、令和5年1月から従来の利用時間に戻し、席数もコロナ禍前の席数に戻すなどの対応を行った。パーティションの設置など、新型コロナウイルス感染症対策は継続して行っている。

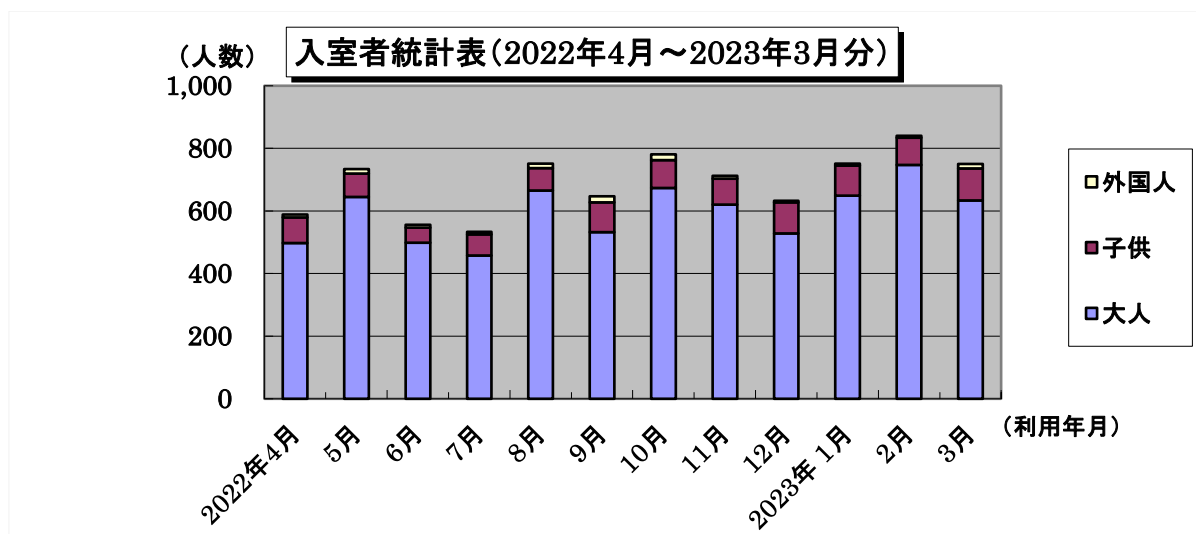
- ア 利用時間 10:00～18:00  
(令和4年4～12月：新型コロナウイルス感染症対策のため時間短縮して開室)  
10:00～20:00(令和5年1月～：コロナ禍以前の利用時間に戻した)
- イ 利用対象 小学校4年生以上(小学校3年生以下は保護者同伴の場合は利用可)
- ウ 複写 資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー利用を可とした。  
白黒コピー (B5～A3) 1枚 10円  
カラーコピー (B5～B4) 1枚 50円 (A3) 1枚 80円
- エ 閲覧等 原則閲覧利用とし、学校等公的団体へは貸出しを行った。
- オ 利用者 8,277名(令和4年4月～令和5年3月)
- カ よみきかせ(親子)利用者 延べ1,395名

入室者統計

(単位：人)

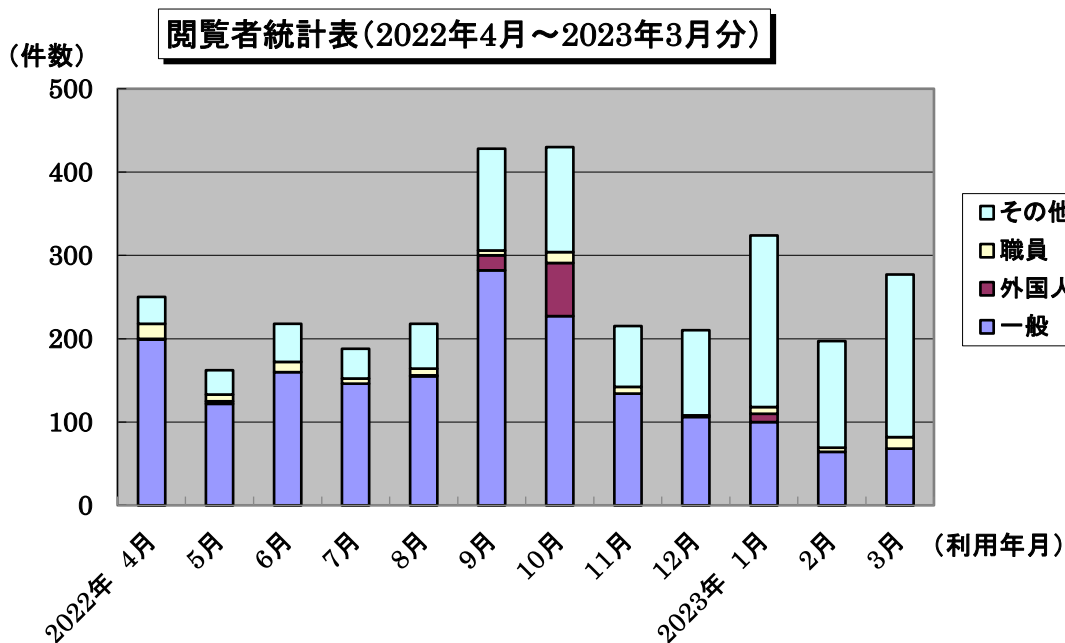
利用年月	開室日数	大人	子供	外国人	総数
2022年4月	29	498	81	10	589
5月	30	645	75	14	734
6月	28	499	48	9	556
7月	18	458	67	8	533
8月	30	665	72	14	751
9月	28	532	95	20	647
10月	30	673	89	19	781
11月	29	620	83	9	712
12月	27	528	99	6	633
2023年1月	27	649	96	6	751
2月	27	747	87	6	840

3月	29	634	102	14	750
合計	332	7,148	994	135	8,277



キ 閲覧数 図書等：3,069件 ビデオ：0件 録音資料(CD等)：0件 動画資料(DVD等)：48件  
 検索用パソコン：316件

ク 閲覧者統計 一般：1,763件 外国人：97件 職員：108件 その他1,149件 合計：3,117件



ケ 閲覧図書上位

1 児童書	2,170件
2 語学	127件
3 アジア	117件
4 世界(複数の国・地域)	112件
5 日本	99件

## (2) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7)

川崎市国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

- ア 外国人への情報提供 (情報ロビー)  
外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。
- イ 国際交流に係る資料や作品の展示 (情報ロビー)  
国内外の文化に身近に接してもらうため、写真や絵画などの展示を行った。
- ウ 外国人市民との交流の場の提供 (情報ロビー)  
テーブルとイスを設置し、外国の方々との交流の場とくつろぎのスペースを提供し、また 12 時～15 時まで飲食可能な場所とした。
- エ 「おとなと子どもと本のふれあいコーナー」設置 (情報ロビー)  
情報ロビーの一角に幼児用マットを敷き、外国の絵本、児童書、紙芝居等を設置した。おとなと小学生以下の子どもが一緒に外国の絵本を読み、くつろげるスペースを提供した。また夏休み期間中は、テレビを設置し、英語版の「日本の童話」DVDを放映した。
- オ 姉妹・友好都市等ギャラリーの活用  
姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。  
市民・団体などから国際交流の写真や絵画などを募り、展示した。
- カ 国際交流に関わる情報提供 (談話ロビー、プロムナード)  
国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。
- キ 国際交流に関わる情報交換 (談話ロビー)  
市民や団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。
- ク 各国紹介パネルの展示 (情報ロビー、プロムナード)  
在日大使館などから提供されたポスターや写真などを館内掲出し、紹介するとともにセンターの国際色豊かな環境づくりを行った。
- ケ インターネットコーナー (受付前)  
無料で利用できるインターネットコーナーの稼働により、市民の情報収集の利便性を高めた。  
インターネットに接続したパソコン 2 台を設置し、市民への情報提供を行った。  
(利用時間) 9:30～20:00 (休館日、施設点検日を除く)  
(利用内容) インターネットの閲覧のみ  
(利用料) 無料。1 回あたり 30 分まで  
(利用件数) 725 件 (内外国人利用 37 件)

### コ 地域との連携

	内 容	日 時
1	第 31 回川崎ジュニア文化賞 受賞作品展示	10 月 20 日 (木) ～11 月 15 日 (火)
2	国際交流「ポッチャ大会」	コロナ禍により Zoom にて開催



## (3) 情報ロビー、展示ロビー、談話ロビー、ギャラリーでの催事・展示 (2-7)

国際交流の拠点として、来館者が気軽に世界各国の文化に触れられるように、国際交流の写真や絵画などの展示を無料で行った。

### ア 情報ロビー

	利 用 内 容	主 催 団 体 等	利用期間
1	中村哲追悼パネル展	(公財)川崎市国際交流協会	4/21～5/27
2	川崎市・リュウベック市(ドイツ) 友好都市提携 30 周年記念 写真展	(公財)川崎市国際交流協会	10/20～11/20

3	かわさきハワイアンフェスティバルワークショップ（実行委員会）	かわさきハワイアンフェスティバル実行委員会	12/2～12/3
4	外国人市民とともに行う防災訓練	(公財)川崎市国際交流協会 (株)東急コミュニティー	2/28

#### イ 談話ロビー

	利用内容	主催団体等	利用期間
1	フットメザ体験会&講習会	フットメザジャパン	11/27 1/29 2/29 3/12
2	川崎市・リュウベック市（ドイツ）市友好都市提携 30 周年記念 写真展	(公財)川崎市国際交流協会	10/20～11/20
3	川崎市・ザルツブルク市（オーストリア）友好都市提携 30 周年記念 写真展	(公財)川崎市国際交流協会	2/1～2/26
4	ザルツブルグ市 市長メッセージ放映	(公財)川崎市国際交流協会	2/1～2/24
5	ウクライナ関連動画放映	(公財)川崎市国際交流協会	2/24～3/26



おとなと子どもと本のふれあいコーナー（情報ロビー）



友好都市 30 周年記念 リューベック市写真展（談話ロビー）

#### ウ 展示ロビー

	利用内容	利用期間
1	紙版画展（個人利用）	6/9～6/12
2	横浜インターナショナルユースフォトプロジェクト写真展	6/19～6/25
3	絵画展（戸張一座）	8/4～8/8
4	写真展（街角等風景写真展示）（個人利用）	8/31～9/4
5	はり絵デザイン展（個人利用）	9/18～9/21
6	日曜書道サークル作品展	10/14～10/16
7	川崎ジュニア文化賞作品展（川崎信用金庫）	10/20～11/15
8	書道教室作品展示	11/23～11/27
9	かわさきハワイアンフェスティバル折り紙レイの展示（実行委員会）	12/2～12/3
10	絵画作品展示（団体利用）	1/14～1/15
11	習字作品の展示（団体利用）	2/4～2/5
12	絵手紙展示（ロータリークラブ）	2/25～2/27
13	子どもアート作品の展示（団体利用）	3/9～3/12



## エ ギャラリー

1	リュウベック市、ザルツブルグ市の絵画展示（個人利用）	10/24～11/13
2	絵画作品展示（個人利用）	12/1～12/27
3	ベトナム・ダナン港からの寄贈品展示（協会）	1/4～3/31

## Ⅱ 広報出版事業

### ■2 情報提供事業

#### (1) 国際交流センターだより等の発行（2-8）

##### ア 「国際交流センターだより」の発行

（目的）川崎市国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催物や講座、施設についての情報をニューズレター形式で発信すること。

（発行）年間 10 回

（部数）3,000 部／回

（内容）月間の行事予定、講座及び行事の募集、センターからのお知らせ、施設点検日、休館日のお知らせ、その他

（配布先）各区役所・市民館・図書館など公共施設、川崎市内公立小中学校・高校、その他国際交流関係機関など

##### イ かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」（シグナル）の発行

（目的）センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介すること。海外在住の日本人や JICA の海外協力隊員、国内の外国人市民に、さまざまな国の生の情報や文化等を市民目線で寄稿してもらい、日本で暮らす外国人市民の異文化感覚や多文化共生にもつながる知識や情報など、幅広く市民に提供すること。

（発行）年 4 回（季刊）

（部数）5,500 部／回

（広告掲載）2019 秋号から広告掲載を開始

（配布先）各区役所・市民館・図書館などの公共施設、川崎市内小中学校・高校・大学等、ボランティア、国際交流関係団体等



#### （企画・編集等）

職員と編集ボランティアで企画・編集会議を開催し、毎号、紙面構成に基づく企画、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。

#### （取材）

- ・ 伝統工芸作家 テチャーナ・ソロツカさん（ウクライナ出身）にインタビュー（夏号）
- ・ 外国人市民代表者会議のメンバーとの座談会を開催（夏号）  
ペレーラ・ラヒル・サンケーターさん（スリランカ出身）、李歡歡さん（中国出身）、レイバーマン・ケビンさん（アメリカ出身）、ヒリストバ・ガブリエラさん（ブルガリア出身）、マイ・アサエルさん（メキシコ出身）
- ・ ジュンリン・クラークウンさん（アイルランド出身）にインタビュー（秋号）

- ・川崎市親善留学生の日本映画大学生にインタビュー（秋号）  
陳奕翰さん（中国出身）、喬帕旭日根さん（中国出身）、俞旭東さん（中国出身）
- ・中国広州料理 粥菜坊のオーナー夫妻（日本、中国出身）にインタビュー（秋号）
- ・川崎フロンターレ（GK）チョン・ソンリョン選手にインタビュー（冬号）
- ・中南米料理 BAR LATINO 新丸子のオーナーレオさん（ペルー出身）にインタビュー（冬号）
- ・第28回外国人市民による日本語スピーチコンテスト 上位入賞者へのインタビュー（春号）  
張沛慈さん（台湾出身）、グエン ティ ホン ニュンさん（ベトナム出身）

（寄稿）

- ・「土の香り漂う 素朴なパガヨー生活」タイ在住 三井田さとみさん（夏号）
- ・「ラオス織りにふれてみませんか」ラオス在住 横山真紀子さん（夏号）
- ・「スポーツを通して国際交流」NPO法人ファンズアスリートクラブ会長 井上秀憲さん（夏号）
- ・「報告！地球市民講座 産業都市川崎と国際交流—外国人市民の関わりの歴史—」かわさき国際交流民間団体協議会会長 山本忠利さん（夏号）
- ・「中村哲追悼 加藤登紀子講演会&ミニコンサート～光ある未来へ」編集ボランティア 正一努さん
- ・行ってみたいなお店 台湾料理「美」さん（夏号）
- ・「ニカラグアで合気道を教える」ニカラグア在住 高森敏さん（秋号）
- ・「異文化が彩りを添えるワシントンD.C.」アメリカ在住 近藤清人さん（秋号）
- ・友好都市提携30周年記念 ドイツ・リュウベック市紹介 大木麻理さん（秋号）
- ・「地域の方々に元気を届ける」戸張一座代表 高津川真紀さん（秋号）
- ・「私のアマゾン」著者 陣内すまさん（秋号）
- ・「幸福度の高い「住」の国オランダ」小池ひろみさん（冬号）
- ・「高麗人参のメッカ豊基」韓国在住 金貞淑さん（冬号）
- ・「高校進学ガイダンスリポート～外国につながる子どもも、高校に入り、卒業したい！～」  
多文化活動連絡協議会代表 中村ノーマンさん（冬号）
- ・「歌を通して、心をつなぐ」心曲悠悠合唱団代表 黄程陽さん（冬号）
- ・「サバァイディー、ニーブン（こんにちは、日本）」ラオス在住 金子ちひろさん（春号）
- ・中国 綿陽市紹介 李芷君さん（春号）
- ・「幸国際子育てクラブ「トントン」」代表 池田恵子さん（春号）

（総括）

編集ボランティアによる企画会議やメールでの提案を取り上げて、特集を組んだり、インタビューを行っている。例えば、「外国人市民代表者会議ではどんなことを話し合っているのか知りたい」という発言から、川崎市の協力で、5名の委員と座談会を開催し、川崎のことや活動について様々な話を聞くことができ、夏号の特集として掲載した。また、「映画のまち・かわさき」を盛り上げ、ミニシアターを応援したい」という発言から、日本映画大学に在籍する3名の留学生にインタビューしたり、川崎のミニシアター「アルテリオ映像館」やNPO法人かわさきムーブアート応援隊に取材し、秋号と冬号にわたって特集を組むことができた。

今後も市民と一緒に多文化共生を推進し、地域を盛り上げる季刊誌を目指したい。

ウ SIGNAL 編集ボランティア研修会

- （日時） 1回目 10月15日（土）10：00～12：00  
2回目 11月23日（土）13：00～15：00
- （場所） 川崎市国際交流センター 団体活動室
- （実施方法） 対面
- （講師） 1回目・2回目 かながわ経済新聞 編集長
- （内容） 1回目 「インタビュー・取材について」  
2回目 「文章の組み立て方、タイトル（見出し）のつけ方、校正の仕方」
- （参加者） 1回目 編集ボランティアほか交流協会の登録ボランティア 25名  
2回目 編集ボランティアほか交流協会の登録ボランティア 26名

（総括）

編集長による記者時代の話やかながわ経済新聞社を立ち上げた時の逸話などに受講者は聞き入っていた。「実際の新聞記事を題材にした説明がわかりやすかった」「ワークショップも楽しかったし、見出し決め難しさを学んだ」「自分が何か発行物を作る際は必ず参照したい」と受講者から大変好評だった。

この研修を機に、編集ボランティアは新しい登録者が増えた。彼らは現在も活動中である。

## (2) センターホームページの運営 (2-8)

センター・協会のホームページにより、市民及び外国人等に対し国際交流や多文化共生等に関する様々な情報を提供した。ワンストップセンターの設置により相談事業等の対応言語が増えたことから、ホームページについても掲載言語を増やし多言語化を進めた。なお、記載や記述については、ウェブ・アクセシビリティに適合したものとしている。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用や主催事業等への対応については、迅速にホームページに掲載するなど、周知に努めた。

ホームページ URL <https://www.kian.or.jp/>

- ・アクセス数 155,845 件 (1日あたり 426 アクセス)
- ・更新回数 3,861 回

### ア 川崎市国際交流センターについて

国際交流センター案内 センター施設の利用案内、センターのイベント及び講座など  
ニュースレター 図書・資料室 国際交流事業への助成制度 など

### イ 外国人への情報提供について

日本語講座 外国人窓口相談 生活情報  
外国人留学生への助成制度 11言語での川崎市内のお知らせ など

### ウ 小学生への情報提供について

川崎市の外国人に関するデータ 姉妹友好都市

### エ 川崎の魅力発信

外国人あるいは外国出身シェフのいるお店

### オ 多言語ブログ

「ブログ歳時記」として、日本の文化や風習と、外国人市民の生活情報に関わる情報を取り交ぜ、多言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、ネパール語、タイ語、ベトナム語、やさしい日本語、日本語)で月2回発信した。  
アクセス件数 10,951 件 (月あたり 912 アクセス)

### カ その他

ボランティア活動、かわさき国際交流民間団体協議会

## (3) 各種メディアの活用 (2-8)

### ア 「かわさきFM」の活用

スポンサーとなっている「世界の国からこんにちは」の番組では、川崎市内施設で学ぶ日本語講座の学習者等が出演し、自国での経験や外国の新しい情報を届けた。

(出演日時) 令和4年4月～令和5年3月

(会場) 武蔵小杉タワープレイス1階 かわさきFMブース

(参加者) 各回2～3名の外国人市民とボランティア1名

また、10月18日(火)には「番組スポンサー枠」としてワンストップセンター、多文化共生課事業について、1月12日(木)には「声の年賀状」としてスピーチコンテスト、ワンストップセンター等の事業についての紹介等を実施した。

### イ 「Facebook」(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用

毎週約4回以上、センターのイベントや講座及びセンターの様子などについて、写真や画像を掲載し、最新の情報を提供した。言語は内容に応じて日本語と「やさしい日本語」を使用した。

Facebookアクセス数(Daily Organic Reach): 79,441件(月あたり6,620アクセス)

「いいね!」1,521件。1756人がフォロー中。(令和5年3月末)また、10言語多言語Facebookを10言語で言語や文化に繋がる市民への情報共有の場を提供した。

- ウ 川崎市のソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用
  - (ア) 協働・連携ポータルサイト「つなぐっど KAWASAKI」
  - (イ) 「かわさきイベントアプリ」
  - (ウ) なかはらメディアネットワーク
  - (エ) かわさきの生涯学習情報（川崎市生涯学習プラザ）
  - (オ) かわさき市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」ほか

### Ⅲ 講座・研修事業

#### ■1 日本語講座事業

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を開講した。新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、対面による講座を開催した。

##### (1) 日本語講座（2-1）

###### ア 講座

- (ア) 午前コース（9:50～11:50） 年間3期、週2回（火・金）  
併せて、保育（受講生の1歳以上の子どもを預かる）  
1学期：4月12日～6月28日（22回）対面で開催  
2学期：9月13日～12月6日（22回）対面で開催  
3学期：1月10日～3月7日（17回）対面で開催

月	ク ラ ス	主 な 国 籍	人 数
4月	上級1、中級2、初級6	中国、フィリピン、イエメン 他	34名
5月	上級1、中級2、初級6	中国、フィリピン、イエメン 他	35名
6月	上級1、中級2、初級6	中国、フィリピン、イエメン 他	35名
9月	中級3、初級7	中国、フィリピン、インド他	41名
10月	中級3、初級7	中国、フィリピン、インド他	38名
11月	中級3、初級7	中国、フィリピン、インド他	42名
12月	中級3、初級7	中国、フィリピン、インド他	34名
1月	上級1、中級3、初級7	中国、フィリピン、ベトナム他	37名
2月	上級1、中級3、初級7	中国、フィリピン、ベトナム他	37名
3月	上級1、中級3、初級7	中国、フィリピン、ベトナム他	35名

###### (総括)

新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら対面で開催をし、3学期には防災訓練や日本文化体験などのイベントも行うことができた。

2学期、3学期は新規入国者からの問合せが多くあった。また、子どもが保育年齢になるのを待って入会を希望するなど、新規学習者が増加するとともに、継続的な学習者も多くおり、上級クラスから入門の日本語会話クラスまで、幅広い学習者に対応した。

- (イ) 夜間コース（18:30～20:30） 年間3期、週1回（水）  
1学期：4月13日～7月6日（12回）対面で開催  
2学期：9月7日～12月21日（15回）対面で開催  
3学期：1月11日～3月8日（9回）対面で開催

月	ク ラ ス	主 な 国 籍	人 数
4月	上級1、中級1、初級6	アメリカ、中国、フィリピン他	20名
5月	上級1、中級1、初級6	アメリカ、中国、フィリピン他	24名
6月	上級1、中級1、初級6	アメリカ、中国、フィリピン他	25名
7月	上級1、中級1、初級6	アメリカ、中国、フィリピン他	16名
9月	上級1、中級2、初級6	中国、フィリピン、アメリカ他	35名
10月	上級1、中級2、初級6	中国、フィリピン、アメリカ他	38名

11月	上級1, 中級2, 初級6	中国、フィリピン、アメリカ他	38名
12月	上級1, 中級2, 初級6	中国、フィリピン、アメリカ他	26名
1月	上級1, 中級2, 初級7	中国、フィリピン、アメリカ他	33名
2月	上級1, 中級2, 初級7	中国、フィリピン、アメリカ他	31名
3月	上級1, 中級2, 初級7	中国、フィリピン、アメリカ他	30名

(総括)

通年を通してコロナ対策をしながら対面開催した。2学期以降受講者数が増え、その後、受講者は減少せず、継続して学習する人が多かった。コロナ対策をしながらの講座受講に、学習者もだいぶ慣れてきた印象である。

イ 講師 当協会登録の日本語講座ボランティア

ウ 活動ボランティア 当協会登録の保育ボランティア（保育）、一般ボランティア（受付）

エ 会場 川崎市国際交流センター 会議室、協会会議室、研修室、ボランティア活動ルーム、団体活動ルーム

オ 学習者(午前・夜間) 延べ684名(42カ国・地域)



日本語講座 夜間コース

カ しごとの日本語講座

7/ 9 (土)	10:00-12:00	対面
7/13 (水)	18:30-20:30	Zoom
7/16 (土)	10:00-12:00	Zoom
7/20 (水)	18:30-20:30	Zoom
7/23 (土)	10:00-12:00	Zoom
7/27 (水)	18:30-20:30	Zoom
7/30 (土)	10:00-12:00	Zoom
8/ 3 (水)	18:30-20:30	Zoom
8/ 6 (土)	10:00-12:00	対面

キ 講師 当協会登録の日本語講座ボランティア、生活にほんごサロンサポーター

ク 会場 対面時は団体活動室

ケ 参加者 延べ22名

(総括)

今年度初めて開催した講座。職場でのミスコミュニケーションについて考える講座と、職場で使える実践的な表現を学ぶ講座に分けて開催した。職場でのミスコミュニケーションについて考えるよききっかけとなったというポジティブなアンケート結果であったが、全9回で二つのテキストを使用したことにより、それぞれのテキストを深く学ぶことができなかった、従事するボランティアが毎回変更し、ボランティア同士の引継ぎに苦労した、などの課題も残った。

## (2) 特別講座 (2-1)

学習者に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

日 時	内 容	学 習 者	日本語 ボラン	参加 人数

			ティア	
12月7日 (水)	書道を体験しよう！（日本文化体験）	25名（夜間コース）	9名	34名
2月24日 (金)	殺陣と甲冑の体験	26名（午前コース） 外国人相談員3名 子ども2名 保育ボランティア3名 受付ボランティア1名	12名	47名

（総括）

午前コースでは、殺陣と甲冑の体験を実施した。魂刀流志伎会に協力を頂き、木刀を持ち、立ち回りの練習や発表を行ったほか、希望者は甲冑の着付けを体験した。体を動かし、楽しみながら日本文化に触れることができた。また、夜間コースでは書道体験を行った。書道を体験するのが初めての学習者が多く、「難しい」と言いながらも、楽しんでいっている様子が伝わってきた。



殺陣と甲冑の体験



書道を体験しよう！

### (3) 生活にほんごサロン (2-1)

外国人市民に、日本語や社会人経験によるビジネスマナーを教えることができるサポーターを1対1でマッチングし、土曜・日曜に日本語や会社でのコミュニケーション力を学べる機会を提供するとともに、相互文化について理解を深める多文化共生の場を提供する場である。

（期間）令和4年4月～令和5年3月末まで、既に活動中のペアは土日祝日に実施。

新規のマッチングは、新型コロナウイルス感染症対策のため休止していたが、令和5年に入ってからコロナ禍も落ち着いてきたので、新規のマッチングも再開した。

（会場）川崎市国際交流センター エントランスロビー、情報ロビー、談話ロビー、オンライン

（内容）日本語学習の内容は学習者の希望に沿って、サポーターと相談して実施した。

（参加費）無料

（参加人数）学習者 延べ472名 サポーター 延べ472名

月	活 動 状 況
4月	外国人学習者43名、サポーター43名（オンラインによる学習サポート含）
5月	外国人学習者62名、サポーター62名（オンラインによる学習サポート含）
6月	外国人参加者48名、サポーター48名（オンラインによる学習サポート含）
7月	外国人参加者60名、サポーター60名（オンラインによる学習サポート含）
8月	外国人参加者24名、サポーター24名（オンラインによる学習サポート含）
9月	外国人参加者39名、サポーター39名（オンラインによる学習サポート含）
10月	外国人参加者46名、サポーター46名（オンラインによる学習サポート含）
11月	外国人参加者28名、サポーター28名（オンラインによる学習サポート含）
12月	外国人参加者21名、サポーター21名（オンラインによる学習サポート含）
1月	外国人参加者31名、サポーター31名（オンラインによる学習サポート含）
2月	外国人参加者33名、サポーター33名（オンラインによる学習サポート含）
3月	外国人参加者37名、サポーター37名（オンラインによる学習サポート含）



(総括)

生活にほんごサロンでは、生活や会社で使う語彙の習得や会話の練習、日本語能力検定試験の合格を目指して、マンツーマンで、内容は学習者とサポーターで相談して実施する。そのため、コロナ禍においては特にサポーターが学習者の相談相手になり、良き話し相手にもなっていた。

コロナ禍でオンラインによる日本語学習サポートも始めるとオンラインによる学習サポートの場合、定期的に週1回実施するペアが多くなり、飛躍的に活動回数が増えた。一方、コロナ禍が落ち着くにつれて、仕事が忙しくなったり、出張が増えたり、外に出かける機会が増え、活動回数が減少していくペアもあった。



生活にほんごサロン

#### (4) 親子で学ぶ日本語サロン (2-1)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

## ■2 国際理解講座事業

地域社会の多文化共生を推進するため、外国語（英語、韓国語、中国語）による文化や課題などの紹介を行い、国際理解を深めた。

#### (1) 国際文化理解講座「ピサンキを作しましょう」(2-3)

ウクライナに古くから伝わる、卵の殻にろうけつ染めで模様をつける伝統工芸であるピサンキを作る講座を行った。ウクライナ出身の講師から、模様や色の意味を学びながら、いろいろなパターンの模様や色で卵に色つけをした。定員を超える申込みがあった。

(日時) 令和4年11月10日、17日、24日の木曜日 10:00~12:30

(会場) 川崎市国際交流センター 研修室・料理室

	開催日	内 容	講師	受講者
1	11月10日 (木)	〈生命の木のシンボル〉 生命の木や世界樹は、家族、健康、精神的な成長を象徴しています。シンボルのバリエーションについて学び、卵に描きこみます。重要な役割を担う色彩の意味についても学びます。	伝統工芸作家 ウクライナ キーウ出身	20名
2	11月17日 (木)	〈母なる大地のシンボル〉 ひし形と斜め十字は、母なる大地と世界の東西南北のシンボルです。卵の殻に描く分割線の違いについても学びます。	伝統工芸作家 ウクライナ キーウ出身	19名
3	11月24日 (木)	〈太陽のシンボル〉 ピサンキでは、星は太陽と生命のシンボルです。シンボルを表す模様の種類と、全体の模様への組み込み方を学びます。このデザインを「針の目」(the eye of the	伝統工芸作家 ウクライナ キーウ出身	19名

		needle) と呼びます。		
--	--	----------------	--	--

(総括)

ロシアによるウクライナへの侵攻を機に、ウクライナ出身の講師からウクライナの伝統工芸を学ぶことで、ウクライナへの理解を深め、それぞれがウクライナへの想いをはせる機会となった。



国際文化理解講座 「ピサンキを作りましょう」

## (2) 外国語による国際理解講座(2-2)

ア 英語による国際理解講座

(ア) 英語による国際理解講座(前期)

英語講座講師などの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や歴史、異文化理解、多文化社会等について、講義と交流を行った。

(日時) 令和4年6月4日、11日、18日の土曜日 13:30~15:00

(会場) 川崎市国際交流センター 協会会議室

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	6月4日	“A Brief History of Irish Whiskey” 「アイリッシュウイスキーの簡単な歴史」	川崎市国際交流員	26名
2	6月11日	“The Way Forward is Together in Mutual Aid” 「前進への道は、助け合いとともに」	横浜市国際理解教室講師	23名
3	6月18日	“The Evolution of Multiculturalism in Society” 「社会における多文化主義の進化」	英語講師	24名

(実施方法) Zoomによるオンライン

(総括)

今年も昨年度に引き続き、オンラインで講座を開催した。講師も参加者もオンラインに慣れてきていて、だいぶスムーズに講座を進めることができた。オンラインの場合は、どうしても一方通行に講師は話をするだけ、参加者は話を聞くだけという形になってしまうので、講師から途中参加者に呼びかけや質問などを入れていただいた。どの講師も新たな発見や考えるべきことを提示していただき、とても有意義な講座となった。





外国語による国際理解講座

(イ) 英語による国際理解講座（後期）

（日時）令和4年10月1日、15日、29日の月曜日 14:00~15:30

（会場）川崎市国際交流センター 協会会議室

（実施方法）Zoomによるオンライン

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10月1日	“Challenges in the construction of few famous civil engineering structures in Japan and Iran” 「土木構築物からみるイランと日本の比較」	総合建築会社研究者	24名
2	10月15日	“The Beatles Beyond the Songs” 「音楽の枠を超えたビートルズ」	大学准教授	21名
3	10月29日	“Make yourself at Home: How to live like a local in Thailand” 「タイの暮らしに溶け込むには」	横浜市国際理解教室 講師	25名

（総括）

イラン、イギリス、タイ出身の講師からいろいろなテーマで話をしてもらい、バラエティ豊かな講座となった。いずれの講師の話も参加者にとって興味深く、国際理解につながるとても有意義な講座となった。

イ 中国語による国際理解講座

川崎市親善留学生を講師に迎えて、中級レベル以上の中国語学習者を対象に中国語で学ぶ講座。

（日時）令和4年10月1日（土）13:00~15:00

（会場）川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

（内容）日本文化に影響を受けた中国のネットスラング

（講師）川崎市親善留学生

（参加者）17名

（総括）

今年は川崎市親善留学生から若者らしく中国のネットスラングから若い世代の中国語についての講義となった。このネットスラングは日本のオタク文化から影響を受けて中国語になった言葉だという。参加者は、アシスタントを含め3名の川崎市親善留学生にそれぞれ中国語で質問し、若い世代の考え方や日本での生活についても聞く機会となった。

ウ 韓国語による国際理解講座

当協会の語学講座の韓国人講師に依頼し、中級レベル以上の韓国語学習者を対象に韓国の大衆文化の歴史や文化について、映像を見ながら学べる講座。

（日時）令和4年10月8日（土）13:00~15:00

（会場）川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

（内容）韓国人のもう一つの言葉

（講師）韓国語講師、詩人

(参加者)22名

(総括)

この講座は韓国語で行うため、韓国語の言い回しや発音なども学ぶことができた。また、当協会の語学講座の韓国人講師に依頼することで、充実し、わかりやすい、現在の韓国を学べる内容の講座を目指している。韓国の音楽やTVドラマを参考にしながらおもしろくわかりやすい講義だったと好評だった。

### ■3 ボランティア養成事業

#### (1) 観光ボランティア通訳セミナー (2-2)

英検準2級レベルで、外国人を案内、交流したいと考えている人材を対象に研修を開催した。外国人への道案内や、日本の文化を紹介するポイントをペアワークなどで練習をした、川崎の魅力英語で説明する方法を学び、川崎大師を英語で案内するツアーを行った。

	日時	内容	講師	受講者
第1回	11月5日(土) 10:30~12:00	・道案内など案内に役に立つ英語フレーズを学ぶ	川崎市国際交流協会 語学講師	24名
第2回	11月12日(土) 10:30~12:00	・よく聞かれる日本の文化や慣習について説明するフレーズ	川崎市国際交流協会 語学講師	24名
第3回	11月19日(土) 10:30~12:00	・外国人観光客、インバウンド状況について知る ・川崎の観光地について知る	通訳案内士、KSGG ボランティア	21名
第4回	11月26日(土) 10:30~12:00	・川崎や川崎大師の魅力英語で話す練習をする ・グループ毎に実践ツアーの準備	通訳案内士、KSGG ボランティア	21名
第5回	12月3日(土) 10:30~12:00	・観光ボランティア通訳実践練習ツアー	通訳案内士、KSGG ボランティア	22名

(総括)

外国人講師による英語表現の勉強や、実際に通訳案内士として活躍されている方を講師に招き、ある程度の知識を身に付けた上で、実際に川崎大師へ赴き、実践的な案内をする練習ツアーを行った。練習ツアーはグループ活動で行い、前回の講座受講者の自主グループで実際にボランティアガイドとして活動しているメンバーにもリーダーとして参加をしてもらった。



観光ボランティア通訳セミナー



観光ボランティア通訳実践練習ツアー

#### (2) 災害時支援ボランティア養成セミナー (2-2)

川崎市及び近隣で災害が発生した際に、外国人市民を支援するためにボランティアが避難所で何ができるか考えるセミナーを開催した。

(日時) 令和4年11月26日(土) 14:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター レセプションルーム

(内容) ・ワークショップ1「避難所の疑似体験」

- ・講義「やさしい日本語」について
  - ・ワークショップ2「防災マップを見てみよう」
- (講師) NPO 法人国際活動市民中心 CINGA 事業コーディネーター  
(参加者) 32名



災害時支援ボランティア養成セミナー

(総括)

今回のセミナーでは、ボランティアが、避難所で何ができるのかを学ぶことを目的に開催した。避難所でのボランティアの大きな役割は、外国人市民と日本人をつなぐ役割だと意識してもらうことができたのではないと思う。避難所での疑似体験、やさしい日本語についてのワークなど、参加者の満足度の高い研修会となった。

### (3) 外国につながる子どもの学習支援サポーター研修 (2-1)

日時	内容	講師	受講者
① 9月10日(土) 13:00~17:00	・日本語が不十分な外国につながる子どもとの接し方、日本語学習支援の取り組み方法	横浜市日本語講師、横浜市小学校国際教室担当者	① 20名
② 12月17日(土) 13:00~17:00			② 20名
(総括)			
小学生、中学生を対象に語彙を増やしたり、書く力を伸ばす実践的な支援について学んだ。また、日本語ゼロの子どもへの支援について具体例を学んだり、ワークショップ形式で考えた。国際教室の様子を映像で見ることができ、参加者にとってすぐに支援に役立つような内容となった。			

### (4) 日本語講座ボランティア登録事前研修(2-1)

当協会の日本語講座ボランティア登録の希望者を対象に事前研修を開催した。

(日時) 令和5年1月18日、25日、2月1日、8日、15日、22日、3月1日、8日、15日、22日

(回数) 10回

(講師) 大学講師、地域日本語教育専門人材育成コーディネーター、当協会日本語講座ボランティア講師

(会場) 川崎市国際交流センター 第3会議室他

(内容) ・川崎市多文化共生社会推進指針、川崎市の外国人を取り巻く状況について

・当協会のオリジナルテキスト「日本語160時間」上・下巻の説明と使い方、講師によるデモンストレーション授業・教案作成と模擬授業実践

(参加者) 6名(当協会日本語講座ボランティア登録希望者)

(総括)

研修の前に、実際の講座の様子を見学してもらい、講座のイメージを持ってから受講していただいたので、自分のイメージとの相違なく受講できたことがよかった。実際の夜間コースが開催されている時間帯の水曜夜に実施したが、仕事の都合で途中から参加できなくなった参加者が相次ぎ、最終的な登録者は3名となり、ボランティア養成の課題が残った。

### (5) 日本語講座ボランティア研修会(就労のための日本語講座開設に向けた研修)(2-1)

「就労のための日本語講座」を担当する講師を養成するための研修。実際に仕事の日本語を担当する日本

語ボランティア、生活日本語サロンサポーターを対象に開催した。講座で使用するテキストの特徴や使い方の指導や、模擬授業などを行った。

	日 時	内 容	講 師	受講者
第 1 回	5 月 7 日 (土) 10:00~12:00 Zoom	・担当者顔合わせ ・講座の説明 ・使用するテキスト「はたらくための日本語」の使い方	JICE 主任日本語 教師	9 名
第 2 回	5 月 14 日 (土) 10:30~12:00 Zoom	・ケース学習のテキストの使い方 ・模擬授業	大学講師 2 名	9 名
第 3 回	5 月 21 日 (土) 10:00~12:00 Zoom	・模擬授業	大学講師 2 名	9 名
第 4 回	6 月 4 日 (土) 10:00~12:00 Zoom	・これまでの振り返り ・担当ボランティアペアの打ち合わせ	JICE 主任日本語 教師	9 名

(総括)

実際に仕事の日本語を担当するボランティアを対象を限定し、使用するテキストについて学び、模擬授業を行い、講師からアドバイス等もらった。講座は会社で使える実践的な言い回しや表現を学ぶものと、異文化によって引き起こされるミスコミュニケーションを題材にしたケース学習の 2 本立てで行うので、それぞれどのテキストを使用するかをあらかじめ決めておき、そのテキストの使い方などを学んだ。一つの講座なのに自分が教えるテキストについて研修を受けることができず、ボランティアが講座の全体像を把握できない結果となってしまったことが課題としてあげられる。



日本語講座ボランティア研修会

## (6) 生活にほんごサロンサポーター養成研修(2-1)

外国人市民が日本で生活するために必要な日本語を教えるサポーターを養成するための研修。川崎市における外国人市民の状況を知ってもらい、生活に必要な日本語を教えるためのスキルを習得してもらうため、幅広く研修参加者を募った。

- (日時) 令和 4 年 10 月 1 日、8 日、15 日 (土) 10 : 00~12 : 00
- (会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム
- (講師) 公益社団法人日本語教育学会 人材育成コーディネーター
- (参加人数) 延べ 69 名
- (対象) 生活にほんごサロンサポーターに関心のある方
- (実施方法) 対面

### ◆研修内容



	日 時	内 容	講 師
1	10月1日(土) 10:00~12:00	第1回 「生活日本語サロン」とは サポーターに求められるもの 初対面の人とのコミュニケーション	(公社)日本語教育学会会員 人材育成コーディネーター
2	10月8日(土) 10:00~12:00	第2回 活動現場で必要なこと 参加者の現状を知る 具体的な活動方法について知る・考える	(公社)日本語教育学会会員 人材育成コーディネーター
3	10月15日(土) 10:00~12:00	第3回 活動の開始に向けて 模擬実践 活動をイメージして計画を立て、やってみる	(公社)日本語教育学会会員 人材育成コーディネーター

(統括)

外国人市民に日本語を教えたい受講者がサポーターを目標に受講した。

講師が川崎市の外国人市民の出身や仕事など、様々な質問を受けながら受講者は現在の社会状況などを学んでいった。次に、外国人になったつもりで日本の社会をみる視点や相手への自己紹介など、考えながらのワークショップを受け、日本での生活を対等な立場から日本語を教えることでサポートすることの大切さを学ぶことができた。



生活にほんごサポーター養成研修

## (7) 生活にほんごサロンサポーター ブラッシュアップ研修(2-1)

外国人市民に対して、毎週末、マンツーマンで日本語を教えて、彼らの生活をサポートしているボランティアの為のブラッシュアップ研修会を開催した。

(日時) 令和4年11月26日(土) 14:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター レセプションルーム

(内容) 事前にそれぞれのサポーターから質問や困っていることをあげてもらい、それらの問題をもとに講師が考え方や教え方のアドバイスを行った。

また、毎回、現在活動中のサポーターがやり方や組み立て方、教材などを発表し、質問に答え、意見交換を行うことで、自分の活動の見直しや参考にすることができた。

(講師) 公益社団法人日本語教育学会 人材育成コーディネーター

(参加人数) 1回目 対面: 12名、オンライン: 4名

2回目 対面: 12名、オンライン: 4名

(対象) 生活にほんごサロンサポーター

(実施方法) 対面とオンラインのハイブリット

(統括)

既に日本語学習サポートの活動をしているサポーターと待機しているサポーターと一緒に参加した研修会だったが、みんなで考えて話し合い、そこで出てきた意見を次の回で取りあげて、講師が様々なやり方や教材などを紹介したり、実際に活動しているサポーターが発表でやり方や時間配分などを聞くことで学びの多い講座内容となり、高評価だった。

## 生活にほんごサロンサポーター交流会

サポーターと学習者と当協会の相談員で困っていることや頑張っていることなどを話し、交流する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

## (8) 親子で学ぶ日本語サロンサポーター養成・研修(2-1)

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、親子で学ぶ日本語サロンの活動、研修会はともに中止。

## (9) ボランティア研修会 (Zoom 活用セミナー②中上級編)

登録しているボランティア全員を対象に、Zoom 活用セミナーを開催した。

(日時) ①12月10日(土) 11:00~12:00(公1事業)(再掲)

③1月13日(土) 13:00~15:00

(実施方法) 対面とオンラインのハイブリット

(内容) Zoom に備わっている機能(ホワイトボード、文字起こし機能、スポットライトの活用、液晶パネルの活用など機能など)、演出の仕方(オンラインの空気感(話し方、カメラの位置など)、プレゼンのポイントなどの演出)についての講義

(講師)「Zoomによるオンライン活用術」の著者

(参加費) 無料

(参加者) 82名

(総括)

参加者からは実際に使える研修内容で大変ありがたい、各種機能と学びかつ演出方法についての話があり、大変参考になったなどの意見があった。機材を見せていただきながら、具体的な活用方法の説明があり、とても参考になる有意義な研修会となった。



講師



会場の様子



オンライン受講者の様子

## IV 国際交流促進事業

### ■1 国際交流事業

#### (1) 日本語スピーチコンテスト(2-5)

川崎市内の大学や専門学校の留学生や日本語講座の学習者及び企業等の外国人研修生等を対象に、「第28回日本語によるスピーチコンテスト」を開催し、オンライン配信により日本人と外国人との相互理解を深めた。

(日時) 令和5年2月18日(土) 13:00~15:45

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(内容) スピーチコンテスト

(主催等) 主催: 川崎市国際交流センター

協賛: 川崎ライオンズクラブ、川崎中ロータリークラブ

協力: 国際ソロプチミスト川崎

後援: 川崎商工会議所、川崎市教育委員会、音楽のまち・かわさき推進協議会

(対象) 日本語を母語としない来日5年以内の外国人で、企業の外国人研修生、市内の大学・専門学校の留学生、市民館等の日本語講座の学習者等

(出場団体等) 6団体 9名

大韓民国 「日本のオモテナシと川崎市のドリョク」 専修大学

台湾 「推しを推そう! ~私の主張~」 外語ビジネス専門学校

ベトナム	「日本に来てよかった」	生活協同組合ユーコープ
大韓民国	「韓国で見た日本と日本で見た日本」	多摩市民館
中国	「縛るな！ 人生」	洗足学園音楽大学
ベトナム	「初めての雪」	多摩市民館
中国	「日本と中国レディースファッションの差」	米山ファッションビジネス専門学校
モンゴル	「ルールを守ろう」	多摩市民館
ベトナム	「日本は素晴らしい国」	生活協同組合ユーコープ

(参加者) 一般参加者 130 名、関係者 12 名、ボランティア 12 名  
(総括)

3年ぶりに一般の観覧者も入場する形で、対面で開催した。コロナ前までは毎年見に来ていたという方も多数おり、出場者も一般市民に直接スピーチを聞いてもらうことができ、対面での開催のよさとありがたさを実感できた。スピーチの様子はビデオ撮影し、ホームページに掲載し、当日会場に来られなかった方々にも見られるようにした。



外国人市民による日本語スピーチコンテスト

## (2) 外国人市民・留学生交流事業 (2-3)

新型コロナウイルス感染症対策のため、Zoomを使ったオンラインで開催した。

(日時) 1回目：令和4年11月5日(土) 14:00~16:00  
2回目：11月19日(土) 14:00~16:00

(会場) Zoomを使ったオンライン

(内容) 留学生の自己紹介

留学生によるグループ発表

- ・在日期间ごとに日本の面白さや日本人の考え方・習慣を明かす
- ・日帰り旅行で国際的な友達を作ろう
- ・自国と日本文化の違い
- ・川崎駅周囲の中国食品店ご紹介と軽食などお勧め

ブレイクアウトルームでの交流

質疑応答

(参加者) 1回目：41名  
2回目：33名

(参加費) 無料

(総括)

外国人留学生修学奨励金の受給者となった留学生には、1年間を通して、地域の国際化、特に川崎市の国際交流活動に参加することを支給要件の一つとしている。今年度は、国際交流活動の一環として、グループごとにテーマに設定して、調べて、まとめたものを「留学生と交流する会」としてオンライン上で発表を行った。川崎市民も留学生の発表をオンラインで視聴し、交流ができるよう事前に広報し、参加者を募った。留学生の発表の後、ブレイクアウトルームでの交流タイムを設けた。また、オンラインで発表した内容を報告書「バトンパス」にまとめ、冊子を作成した。



「留学生と交流する会」

### (3) 世界の音楽会（魅惑の音楽紀行）(2-6)

#### 川崎市・ドイツ リューベック市友好都市提携 30 周年記念コンサート

友好都市提携 30 周年を迎えるドイツ リューベック市と、音楽を通じた交流と親交を深めることを目的に、川崎市と公益財団法人川崎市国際交流協会が連携し、コンサートを実施した。

- (日時) 令和 4 年 11 月 12 日 (土) 14:00~16:00
- (会場) 川崎市国際交流センター ホール
- (出演) ミューザ川崎シンフォニーホール ホールオルガニスト  
東京交響楽団 首席トランペット奏者
- (入場者数) 201 名 (うち一般参加者 190 名、招待者 11 名)
- (ボランティア数) 15 名
- (同時開催)

川崎市・リューベック市 (ドイツ) 友好都市提携 30 周年記念事業写真展  
「リューベック市の魅力紹介」 協力：リューベック市



- (主催) 川崎市、川崎市国際交流センター (指定管理者 (公財) 川崎市国際交流協会)
- (協力) ミューザ川崎シンフォニーホール (川崎市文化財団グループ)  
ドイツ・リューベック市
- (後援) 「音楽のまち・かわさき」推進協議会
- (総括)

この事業は、川崎市と公益財団法人川崎市国際交流協会の共催事業として開催した。リューベック市及び川崎市の国際交流担当の協力で「リューベック市写真展」の開催やリューベック市の動画放映、「リューベック市長からのメッセージ」を来場者に届けることで、友好都市への理解や興味を深める機会となった。アンケートではリューベック市に行ってみたくなった、ぜひ行ってみたいという感想も多くあった。

コンサートではドイツゆかりの音楽家ヘンデルやブクステフーデについて、演奏家による解説が入り、後半ではバッハのアヴェ・マリアやアリアなどの有名な曲の演奏もあり、オルガンとトランペットの重厚かつ美しいデュオの演奏に感動したとの声が寄せられた。





川崎市・ドイツ・リュューベック市友好都市提携 30 周年記念コンサート

## ■2 多文化共生推進事業

### (1) 外国人市民と共生するまちづくりセミナー(2-3)

市民を対象に、多文化共生社会について知り、推進することを目的とするセミナーを開催。外国人市民を取り巻く課題について学習し、認識を深めた。外国人市民が社会参画できる地域社会、多文化共生社会の実現について考える機会となった。

(日時) 令和4年7月9日(土)、7月30日(土)、8月27日(土) 13:30~15:30

(実施方法) Zoomによるオンライン

(内容) 「多文化共生社会を知る」

	開催日	内 容	講師	受講者
1	7月9日	外国人市民との共生を考えるはじめての一步は「在留資格」の理解から	行政書士	34名
2	7月30日	日本で働く外国人労働者就労実態と受け入れ社会の課題	大学名誉教授	28名
3	8月27日	外国につながるのがある児童生徒への支援これからの多文化社会の担い手育成の観点から	認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ事務局長	25名

(総括)

「多文化共生社会を知る」をテーマに、在留資格制度や日本で働く外国人労働者の就労の実態、外国につながる子どもの支援について知り、外国人市民を取り巻く課題について学び認識を共有することができた。外国人と日本人の情報の違いを認識した対応、多様化への認識を深めることができた。これからの多文化共生社会について考えるとても有意義な機会となった。

### (2) 母語母文化継承支援事業(2-3)

ア 多言語読み聞かせ事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

イ「多文化共生ふれあい事業」等の促進

市内の小・中学校等または市教育委員会から依頼があったときに、総合的な学習の時間の英語活動や国際理解教育のため、外国人市民を派遣した。また、要請により学校へ民芸品の貸し出しも行った。特に小学校では、外国につながる子どもの出身国を他の子どもたちが知る、本人も自分の国のよさを認めることができる、よい機会となった。

(ア) 英語活動、国際理解教育への講師派遣

市内小学校他 延べ45名 87件

ウ 外国につながる子どもの教育フォーラム

(日時) 令和4年3月15日(木) 14:00~16:30

(会場)川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) 外国につながる子どもであった講師から、支援を受ける側から支援する側に至る成長と取り組みについて話していただいた。教育委員会や学校関係者も参加した。

(参加者)12名

(総括)

外国につながる子どもたちは近年増加し続けている。しかし、一人ひとりの子ども達の背景や状況は異なり、日本語能力や教科学習についてもきめ細かい学習支援が求められている。そのため、市内で外国につながる子どもの学習支援を行っている方々が一堂に会し、課題や学習支援の方法について情報交換を行った。

## ■アンケート結果

令和4年度 講座・事業 アンケート結果

NO	事業名	講座名	回答数	分かりやすかった			ためになった			楽しかった				満足度			
				大いに満足 (大変よかった)	満足 (よかった)	普通	期待内 容と相違	大いに満足 (大変よかった)	満足 (よかった)	普通	期待内 容と相違	大いに満足 (大変よかった)	満足 (よかった)		普通	期待内 容と相違	
1	指定管理事業(公2)	就労のための日本語研修(%)	8	16.7	83.3	0	0								100.0		
2		日本語ボランティア登録事前研修	6					5	1						100.0		
3		しごとの日本語講座	5	2	3	0	0	2	1	2	0	4	1	0	86.0		
4		国際文化理解講座	17	10	5	2		12	4		1				91.1		
5		英語による国際理解講座1	14	9	3	1	0	5	8	0	0	5	7	1	0	84.9	
6		英語による国際理解講座2(%)	12	25.0	41.7	33.3	0.0	25.0	58.3	6.3	8.4	27.3	63.5	9.1	0.0	80.3	
7		英語による国際理解講座3(%)	12	25.0	41.7	25.0	8.3	25.0	41.7	25.0	8.3	25.0	50.0	16.7	8.3	69.5	
8		英語による国際理解講座4(%)	15	93.3		6.7		93.3		6.7		93.3		6.7		93.3	
9		英語による国際理解講座5(%)	9	100.0				100.0				100.0				100.0	
10		英語による国際理解講座6(%)	7	100.0				100.0				100.0				100.0	
11		講座研修事業	韓国語による国際理解講座	20	15	5			15	5						100.0	
12			中国語による国際理解講座	13	7	5	1		7	5	1					92.3	
13			観光ボランティア通訳セミナー1	23	11	11	1									95.7	
14			観光ボランティア通訳セミナー2	23	10	11	2									91.3	
15			観光ボランティア通訳セミナー3	18	7	10	1									94.4	
16			観光ボランティア通訳セミナー4	20	10	9		1								94.4	
17			観光ボランティア通訳セミナー5	20	10	8	1	1								90.0	
18			災害時通訳ボランティア養成セミナー	29	19	10			20	9			18	9	2		98.9
19			編集ボランティアのための研修会1	21	14	6	1		15	5							98.1
20			編集ボランティアのための研修会2	14	9	3	1		10	4							96.1
21		日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座1	15	10	2	1	2									80.0	
22		日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座2	15	11	4											100.0	
23	国際交流促進事業	外国人市民による日本語スピーチコンテスト	52	36	14	2					38	15	1		96.2		
24		敏感の音楽紀行	144	99	40	5									97.0		
25		留学生と交流する会1	23	12	11			12	11						100.0		
26		留学生と交流する会2	17	15	1			14	2	1					94.1		
27		生活にほんごサロンサポーター養成研修	21	12	9			13	8			13	8	1		98.3	
28		生活にほんごサロンブラッシュアップ研修会	15	10	5			11	4			9	5	1		97.8	
29		外国人市民と共生するまちづくりセミナー1(%)	19	15.8	57.9	26.3	0.0	31.6	42.1	21.1	5.2	22.2	44.4	27.8	5.6	71.3	
30		外国人市民と共生するまちづくりセミナー2(%)	27	18.5	59.3	18.5	3.7	28.6	46.4	17.9	7.1	25.0	60.7	5.8	10.7	79.3	
31		外国人市民と共生するまちづくりセミナー3(%)	21	38.0	57.1	4.8	0.0	38.0	57.0	4.8	0.0					95.0	
32		外国人につながる子どもの教育フォーラム	11	8.0	3.0											100.0	
33		その他の事業	外国につながる子どもの寺子屋ブラッシュアップ研修1	8	1	6	1		3	5						93.8	
34			外国につながる子どもの寺子屋ブラッシュアップ研修2	7	4	3			4	3						100.0	

3169.3  
満足度平均  
93.2

## V 外国人相談事業

### ■1 外国人相談事業

「ワンストップセンター外国人相談窓口」の運営として、外国人市民の日常生活に関する幅広い相談に対しての情報提供や助言、必要に応じては関係機関・団体等の紹介を実施した。相談は、ワンストップセンター窓口、専用ダイヤル電話、メール、オンライン（Zoom）で対応した。

コロナ禍による部分的な在宅勤務の対応としては、既存のトリオフォン3者通話システムを活用して、数多くの相談に対応した。

毎月課内会議にて相談内容や情報の共有、報告会を実施し、相談対応の質の向上に努めた。

#### (1) センター相談事業（2-4）

##### 川崎市国際交流センター

相談員 12 名（含 8 人母国語スピーカー）による相談業務を実施

相談曜日・時間：月曜～土曜 9:00～17:00

やさしい日本語・英語・中国語：月～土

スペイン語・タガログ語・インドネシア語：火・水

韓国・朝鮮語：火・木

ポルトガル語・ベトナム語：火・金

タイ語：月・火

ネパール語：火・土

#### (2) 相談実績

川崎市国際交流センターにおける年間相談件数 3,314 件（昨年比 1.11%増）

#### 一元的相談窓口相談件数等調査票

相談窓口名 【多文化共生総合相談ワンストップセンター】 報告月 【令和4年度】

##### 1 相談対応言語

英語	中国語	韓国語	ポルトガル語	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	インドネシア語	ネパール語	タイ語	日本語	クメール語	ミャンマー語	
453	181	30	61	73	259	58	55	287	16	796	0	0	
									モンゴル語	ロシア語	ウクライナ語	その他	合計
									0	1	0	0	2,270人

##### 2 相談者数

来訪	電話	その他（手紙、メール等）	合計
397	1454	419	2,270人

##### 3 国籍等別の相談者数

中国	台湾	韓国	フィリピン	インドネシア	ネパール	スリランカ	トルコ	ブラジル	ペルー	タイ	ベトナム	カンボジア
233	3	38	357	67	334	16	1	63	63	24	77	2

ミャンマー	モンゴル	アフリカ諸国	欧米諸国	オセアニア	日本	ロシア	ウクライナ	その他	不明	合計
5	6	19	168	4	518	1	17	148	106	2,270人

##### 4 申出のあった相談内容別件数

入管手続	雇用・労働	社会保険・年金	税金	医療	出産・子育て	教育（学校・大学・国際学校など）	日本語学習	防災・災害	住宅	身分関係 結婚/離婚/DV等	交通・運転免許	通訳・翻訳
127	99	100	67	151	122	230	440	2	165	39	15	526

ウクライナ関係	コロナウイルス関係	その他	合計
70	179	982	3,314件

### (3) 相談支援 (2-4)

#### ア 専門相談・各種連絡会議等

(センター内)

行政書士による「外国人ビザ無料相談会」(毎月第3日曜日 14:00~16:00)

(外部機関)

かながわ外国人居住支援 NW 運営協議会、川崎市あんしん住宅ネット会議、川崎市女性保護事業関係機関連絡会、川崎市 DV 被害者支援対策推進会議、中原区子育てネットワーク会議・中原区未来フェスタ実行委員会、関東ブロック国際化連絡協議会、神奈川県外国人相談機関連絡会、多言語支援センターNW 会議、関弁連外国人相談担当者による懇談会、行政機関・同種団体・研究機関等からのアンケート、調査協力依頼への回答多数

#### イ 相談員研修

当協会の相談員全員による相談事案の共有と情報交換のためのミーティングや研修を、原則毎月第4火曜日に川崎市国際交流センターで行った。さらに、川崎市国際交流センターで実施する研修や外部機関が実施する研修に相談員を参加させるなど、新しい情報の収集に努めるとともに、相談員の資質向上に努めた。

- |     |           |                      |
|-----|-----------|----------------------|
| 第1回 | 6月7日(火)   | 「市営住宅説明会の研修会」        |
| 第2回 | 10月18日(火) | 「日本の公的年金について」        |
| 第3回 | 9月6日(水)   | 「高校進学ガイダンス相談員研修」     |
| 第4回 | 2月21日(火)  | 「相談援助基本等について」(オンライン) |

#### ウ

#### 令和4年度 研修

	研修内容	月	日	参加人数	主催者	場所
1	第7回外国人相談窓口連絡会オンライン会合研修	5月	27日	7名	東京出入国在留管理局在留支援部門	国際交流センターor 自宅
2	令和4年度第1回相談員研修	6月	20日	4名	東京出入国在留管理局在留支援部門	国際交流センターor 自宅
3	令和4年度外国人相談窓口相談員研修会 外国人キーパーソンから見た支援の在り方	6月	22日	6名	東京出入国在留管理局在留支援部門	国際交流センターor 自宅
4	令和4年度外国人相談窓口相談員研修会 外国人の女性等の支援について	6月	24日	5名	東京出入国在留管理局在留支援部門	国際交流センターor 自宅
5	「災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練事業」第1回オンライン研修	6月	24日	1名	一般財団法人 自治体国際化協会 (CLAIR)	自宅
6	災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練事業	7月	13日	1名	一般財団法人 自治体国際化協会	自宅
7	第8回外国人相談窓口連絡会	8月	26日	4名	東京出入国在留管理局在留支援部門	センター
8	外国人支援者向けセミナー「国際結婚の法律問題」	9月	15日	4名	法テラス	自宅
9	外国人につながる高齢者が安心して日本で暮らすために	9月	25日	3名	ユッカの会	自宅

10	災害時における外国人への支援セミナー	9月	26日	1名	全国市町村研修財団	滋賀県大津市2泊3日
11	第3回外国県民相談等に関する研修	9月	30日	10名	かながわ外国人すまいサポートセンター	自宅
12	令和4年度「災害時外国人支援情報コーディネーターの養成研修」	9月	8日	1名	総務省自治行政局	総務省自治大学校
13	令和4年度「災害時外国人支援情報コーディネーターの養成研修」	9月	9日	1名	総務省自治行政局	総務省自治大学校
14	令和4年度かながわ自治体の国際政策研究会「日本の難民支援について」	11月	15日	6名	かながわ自治体の国際政策研究会事務局	オンライン
15	第9回外国人相談窓口連絡会	11月	25日	7名	東京出入国在留管理局	国際交流センターor 自宅
16	インボイスで激変する経理事務	12月	2日	2名	全国公益法人協会	WEB 配信
17	外国人技能実習について	12月	16日	8名	かながわ自治体の国際政策研究会事務局	WEB 配信
18	外国人相談窓口スキル	1月	25日	6名	東京出入国在留管理局在留支援部門	WEB 配信
19	年金制度について	1月	26日	4名	東京出入国在留管理局在留支援部門	WEB 配信
20	帰化手続きについて	1月	27日	7名	東京出入国在留管理局在留支援部門	WEB 配信
21	外国人のすまいと生活	1月	20日	5名	神奈川県居住支援協議会	神奈川県民活動センター
22	神奈川県内ソーシャルワーカー交流会	3月	21日	3名	神奈川県社会保険会	Zoom
23	多文化高齢社会ネットかながわ 2022 年度活動報告	3月	5日	1名	神奈川県社会保険会	Zoom
24	令和4年度災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修	3月	2日、3日	1名	総務省自治行政局	総務省自治大学校自治大学校
25	外国人法律相談現場から	2月	16日	6名	神奈川県社会保険会	Zoom
26	Zoomを使ったオンライン活用術(初級編)	12月	10日	2名	協会 ボランティア研修会	Zoom
27	外国人が安心して医療を受けられるための環境整備	2月	27,28日	1名	全国市町村研修財団	全国市町村国際文化研修所
28	かながわの外国につながる高齢者の介護	3月	5日	2名	TKNK	Zoom

## VI その他の事業

### ■1 国際交流センター設置目的に沿った事業

#### (1) 外国につながる子どものための寺子屋（教育委員会事業 住吉小学校寺子屋分教室）

（期間）令和4年4月2日（土）～令和5年3月25日（土） 回（体験学習なし）

（参加者）学習者（児童） 延べ 414 名 ボランティア 延べ 666 名

月	登録状況	回数	延べ学習者
4月	ボランティア 18 名、外国人児童参加者 9 名	5 回	27 名
5月	ボランティア 16 名、外国人児童参加者 10 名	3 回	26 名
6月	ボランティア 16 名、外国人児童参加者 10 名	4 回	29 名
7月	ボランティア 16 名、外国人児童参加者 12 名	5 回	51 名
8月	ボランティア 16 名、外国人児童参加者 11 名	3 回	24 名
9月	ボランティア 16 名、外国人児童参加者 11 名	4 回	39 名
10月	ボランティア 16 名、外国人児童参加者 11 名	3 回	45 名
11月	ボランティア 14 名、外国人児童参加者 13 名	3 回	35 名
12月	ボランティア 14 名、外国人児童参加者 13 名	3 回	30 名
1月	ボランティア 14 名、外国人児童参加者 14 名	2 回	35 名
2月	ボランティア 14 名、外国人児童参加者 13 名	3 回	36 名
3月	ボランティア 14 名、外国人児童参加者 12 名	4 回	37 名

（総括）

引き続き新型コロナウイルス感染症対策をしながら学習支援を行った。体験学習などはしなかったが、季節ごとに節分の豆まきや七夕の短冊作りなど、日本文化を学ぶ機会を設け、子どもたちは楽しみながら文化体験をした。



外国につながる子どものための寺子屋

#### (2) 外国につながる子どものための寺子屋ブラッシュアップ研修

	日時	内容	講師	受講者
1	10月8日（土） 13:00～15:00	外国につながる子どもの家庭環境と問題、寺子屋に求められる役割、具体的な学習支援の在り方等	多文化活動連絡協議会代表	9名
2	10月22日（土） 13:00～15:00	学校の取り組みの現状、地域（寺子屋）に求められる役割と期待 他	川崎市教育委員会事務局教育政策室指導主事	9名

（総括）

外国につながる子どもの学習支援者を対象に行った。普段一緒に活動しているが、改めて感じることや悩みなどを共有できたことは有意義であった。また、直接学校関係者から、学校での子どもへの取り組みなどを聞いたことも大変勉強になった。



## Ⅶ 施設運営及び維持管理業務

### (1) 国際交流センターの管理運営（JV）

#### ア 統括業務

施設の運営、維持管理業務を円滑に行うため、業務間調整、職員への教育・指導を行った。

#### イ 施設利用受付及び案内業務

(ア) 来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

(イ) 国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供した。

#### ウ 施設利用促進業務

(ア) 国際交流センターの正面玄関への誘導案内を多言語で街路灯等に表示し、来館者の利便性を図った。

(イ) 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業の開催について説明し、施設の利用促進を図った。

(ウ) 随時、施設見学の要望を受けて市民への利用促進を図った。

(エ) 国際性あふれる施設空間の活用として、玄関前広場の市民利用を促進した。

(利用時間) 9:00～17:00 (休館日、施設点検日を除く)

(利用料) 無料

(利用日数) 116日 (申請件数 72件)

(利用内容) 国際交流を目的とした利用 2日

地域交流を目的としたフリーマーケットやフードパントリー会場としての利用 59日

地域交流や各国の料理提供を目的としたキッチンカーの設営 55日



国際交流を目的とした利用  
「ハワイアンフェスティバル」



月に1度のフリーマーケット  
「みらつなまるしえ」

#### (総括)

川崎市による外壁工事のため利用できなかった日が16日間あった。フリーマーケットやキッチンカーで出店参加の人の中にはセンター初来館の方もおり、センター周知に貢献した。

#### エ 川崎市国際交流センター活用推進検討委員会の開催

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、川崎市国際交流センター活用推進検討委員会を2回開催した。

(ア) 令和4年11月25日(金)13:30～15:00

会場：川崎市国際交流センター1階 特別会議室

議事：川崎市国際交流センター指定管理者としての評価について  
センターの活用及び今後の取組について意見交換

令和3年度指定管理者制度活用事業の評価について委員に報告し、どのような取組や工夫改善をすれば評価につながるか意見をもらった。また外国人市民への施設の周知が必要であることや

施設利用者アンケート、イベントの広報など利用者数の増加につなげるための意見をもらった。

- (イ) 令和5年3月28日(火)10:30~12:00  
会場：川崎市国際交流センター1階 特別会議室  
議事：センター利用者アンケートの結果について  
・センターホームページについて  
・図書・資料室について  
・施設利用料のキャッシュレス化について  
センターの活用について

令和4年度実施した施設利用者アンケートの結果を委員に報告し、国際交流センターの周知方法として駅看板を利用する方法や、川崎市内でも希少なホールの設備等について意見をもらった。また図書資料室は「資料館」として市立図書館との違いを出してもよいという意見もあった。

オ 自動販売機、コピー機、AED（エントランスロビー）、及びインターネットを無料で提供できるWi-Fi（エントランスロビーや談話ロビー、外国人相談を行う事務室）を設置することで、利用者への

サービスを提供した。自動販売機は、談話ロビーと別棟の2ヶ所以外に正面玄関前、イベント広場の2ヶ所設置を増やし利便性を向上させた。

カ レセプションルームに、インターネット環境を無料で提供できるWi-Fiを設置し、利用者へのサービスを提供した。

キ 特殊簡易公衆電話（通称ピンク電話）を設置し、利用者の利便性を図った。

ク 玄関前広場の一角にシェアサイクルステーション7台分を継続設置し、利用者の利便性の向上を図った。（年間利用 貸出件数 2,670件 返却件数 2,709件）

ケ 図書・資料室管理業務

(ア) 資料の組織、閲覧、レファレンス業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び・組織・配架作業を行い、利用者へ国際交流・国際理解に役立つ情報提供を行った。

(イ) 午前中の読み聞かせタイム（声を出して本を読んでも良い時間）のみ設置していた親子席を常設とし、親子席の近くに絵本コーナーを設け、絵本・児童図書を集約することで、利用しやすい空間の創出を図った。また親子席・絵本コーナーを室外から見えやすい廊下側に配置し、換気を兼ね入口ドアを開放することで、小さな子ども連れでも入室・利用しやすい環境整備を行った。

(ウ) 子どもから高齢者まで幅広い利用者層を意識し、細やかなサービスの提供を行った。「よみかせタイム」は従来通り午前中のみとし、午後は静かな利用をお願いすることで、時間帯によるゾーニングを行い、静かな環境を求める利用者にも配慮、多様なニーズに応えるよう努めた。

(エ) 令和3年度に実施した利用者アンケートの結果に基づき、語学テキスト、語学辞書、語学系読み物類の所蔵を拡大し、同時に旧版の更新を行った。語学書の対応言語数を約60言語に増やして利用者のニーズに応えつつ、辞書類の版を刷新することで国際交流センター図書・資料室に相応した情報資源となるよう整備に努めた。また、学生や親子連れの利用を視野に、リーダー本（英語多読用図書）やバイリンガル絵本・コミック類の所蔵を拡充した。

(オ) 保管期限の過ぎた雑誌、図書・資料室で受け入れなかった寄贈図書を利用者に提供する「リユースコーナー」を常設し、資料の有効活用を図った。

(カ) 利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を隔月発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。各235部発行し、近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。

(キ) 新着図書コーナー、隔月毎に設ける展示コーナーの図書展示において、利用者に向けて、様々なジャンルの本の紹介を行った。

(ク) 館内で開催される各種講座やイベントに関連する本を小展示コーナーへ展示し、同内容を紹介するポスターの掲示・参加者へのチラシ配布等を実施。本の紹介と共に図書・資料室の周知を図った。

(ケ) かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」やセンターだより、ハローかわさきに図書・資料



室の紹介記事を掲載する他、HPで「図書・資料室だより」や室内の「展示コーナー」等の紹介をするなど、図書・資料室の周知を図った。

(コ) センター利用者アンケートの中で、図書・資料室に関するアンケートも実施。今後の方向性の決定に資するべく利用者のニーズを探った。アンケート結果は令和5年度の事業に反映させていく予定である。

(サ) 新型コロナウイルス感染症対策として、室内のレイアウトや利用方法の見直し、室内の換気・清掃に力を入れるなど、利用者が安心して図書・資料室を利用できるよう努めた。



「絵本コーナー」



「リユースコーナー」

#### コ 施設・設備の維持管理及び補修業務

(ア) 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。

(イ) 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施し予防保全に努めた。

(ウ) 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ効率的な補修を実施した。

(エ) 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

#### サ 舞台及びAV機器等維持管理業務

市民文化の醸成と国際文化交流の場とすべく、利用者により機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置、機器類の維持管理を行った。

#### シ 施設警備業務

宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

#### ス 駐車場管理業務

駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。駐車場利用料について、毎日の売上金の回収、集計、及び駐車場利用者のデータ集計を実施した。

#### セ 設備保守点検業務

施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

#### ソ 施設環境衛生管理業務

(ア) 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）」に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

(イ) 空気環境測定業務 年6回（奇数月）

(ウ) 飲料水水質検査 年2回（2月・8月）

(エ) 給湯水水質検査 年2回（2月・8月）

(オ) 害虫防除 年12回

(カ) レジオネラ症対策

空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施。冷却水水質検査年2回（6月・8月）

#### タ 施設清掃業務

(ア) 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

(イ) 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

(ウ) フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

チ 植栽維持管理業務

(ア) 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。

(イ) イベント広場等の庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場の環境維持に努めた。

(ウ) 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

## (2) 施設整備

ア 施設の改修

- ・ 受水槽受ばり工事
- ・ ホテル水道メーター更新
- ・ 消防設備点検不具合修繕（ホテル系統ダンパー不具合）
- ・ 電気室給気ファン修理整備
- ・ 受水槽排水バルブ交換工事
- ・ 受変電設備補助リレー交換工事
- ・ 移動観覧席座席修理
- ・ 泡消火剤サンプリング
- ・ 第6会議室パッケージ空調機修理
- ・ 茶室スズメバチ駆除・巣撤去
- ・ イベント広場照明器具増設工事
- ・ 監視カメラ駆動ユニット修理
- ・ ホール用エアハンドリングユニット空調機給気モーター整備

イ 施設的环境整備等

- ・ 料理室、交流サロン、団体活動ルーム他3室等天井蛍光灯86ヶ所LED照明交換工事
- ・ 本館1階、2階トイレに28ヶ所洗面自動水洗化工事
- ・ バリアフリー調査結果対応階段点字ブロック設置工事
- ・ バリアフリー調査結果対応別棟多目的トイレにベビーチェア1基設置工事
- ・ バリアフリー調査結果対応別棟までの通路の排水桝蓋7ヶ所交換工事
- ・ 新規Wi-Fi設置のための配線用管路工事
- ・ 茶室給湯器交換工事
- ・ ワイヤレスマイク4本更新
- ・ プロジェクター用80インチスクリーン1台更新
- ・ 案内板6台更新
- ・ トイレ洗浄暖房便座1台修理
- ・ 施設利用者による展示パネル4枚汚損の修繕
- ・ 図書・資料室入室者検索性PC2台整備

## (3) 市民共同おひさま発電所

ア 経過等

平成20年8月に川崎市国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。

地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となり立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金、グリーン電力基金からの助成金及び「ap bank」からの融資を受け自ら設置し、川崎市に寄付したものである。

川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、センターを訪れる外国人をはじめ多くの人たちに、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続的に発信してきた。

「川崎地域エネルギー市民協議会」が平成28年1月に設立されたが、「市民共同おひさま発電所」は協議会の主要メンバーである。

イ 設備の概要

- ・ 太陽光発電（合計出力） 6.25KW

（内訳）川崎市国際交流センター陸屋根設置分4.32KW、プロムナード上部設置部分1.93KW

・事業費 約 850 万円

(内訳) 寄付金 150 万円、グリーン電力基金 700 万円

#### (4) 施設利用実績

##### ア 令和 4 年度 川崎市国際交流センター来館者数 (月別)

###### 令和4年度 川崎市国際交流センター来館者数

###### 外国人市民来館者数(内訳)

月	開館日数	施設利用者							外国人利用 (内数)	合計	その他	外国人市民来館者数(内訳)						
		有料施設	図書・資料室	団体活動ルーム 協会会議室利用	その他	インターネット 利用	内外国人 (再掲)	申請者				玄関前広 場	協会(相談)	外国人市民 代表者会議	日本語講座 学習者	図書資料室 利用	その他(受付)	外国人計
4月	30日	8,460	589	1,357	2,750	64		81	610	717	13,911		40	25	217	10	425	717
5月	31日	8,970	734	1,733	2,770	59	(1)	79	360	653	14,705		34	23	332	14	250	653
6月	29日	8,340	556	1,705	1,970	61		69	140	733	12,841	外壁工事 玄関前利用制 限あり	30	22	402	9	270	733
7月	31日	5,890	533	931	2,170	63	(1)	75	260	335	9,922	外壁工事 貸館 制限。7/4~15 図書室蔵書点 検	26	0	35	8	266	335
8月	31日	7,200	751	0	1,325	62	(2)	74	340	332	9,752	外壁工事、貸館 制限あり	21	0	4	14	293	332
9月	29日	7,389	647	690	1,970	62	(1)	86	290	699	11,134		44	21	289	20	325	699
10月	31日	9,990	781	1,770	2,280	63	(7)	73	460	1,090	15,417		31	20	461	19	559	1,090
11月	30日	10,590	712	1,664	2,650	49		77	270	1,159	16,012		36	17	377	9	720	1,159
12月	28日	11,250	633	1,223	2,380	55	(1)	68	880	639	16,489		26	0	143	6	464	639
1月	28日	7,890	751	1,205	2,490	70	(8)	86	295	802	12,787		24	19	345	6	408	802
2月	28日	8,680	840	1,221	3,060	58	(4)	66	340	889	14,265	防災訓練(玄関前) 117名【消防隊員 27名 町内会 9名 保護児童21名】	36	17	406	6	424	889
3月	30日	10,366	750	685	3,170	59	(12)	72	230	605	15,332		34	0	140	14	417	605
合計	356日	105,015人	8,277人	14,184人	28,985人	725人	(37人)	906人	4,475人	8,653人	162,567人		382人	164人	3,151人	135人	4,821人	8,653人

##### イ 川崎市国際交流センター施設利用状況 (年間開館日数 : 344 日)

施設名	利用コマ数	利用率%	施設名	利用コマ数	利用率%
ホール (264)	762	73.8	特別会議室 (28)	69	6.7
レセプションルーム	706	68.4	特別応接室 (8)	114	11.0
会議室 (第1) (36)	632	61.2	料理室 (24)	186	18.0
会議室 (第2) (24)	636	61.6	交流サロン (30)	812	78.5
会議室 (第3) (24)	688	66.7	茶室	302	29.3
会議室 (第4) (30)	537	52.0	レクリエーションルーム	921	89.0
会議室 (第5) (30)	537	52.0			
会議室 (第6) (18)	728	70.3			
会議室 (第7和室) (10)	644	62.2			

(注) 1 ( ) は通常の定員数

※新型コロナウイルス感染症対策として利用施設、利用形態等によって利用定員数等の制限を行っていた時期がある。また、外壁工事に伴い利用施設によっては午前及び午後区分の貸出しを停止していた時期がある。

2 利用コマ数は、利用区分(午前、午後、夜間)合計の実利用数。

3 利用率は、小数点以下2桁を四捨五入。

##### ウ ロケによる施設の利用実績

- ・ 特別会議室・応接室                      ドラマの撮影        5 件
- ・ レセプションルーム                    ドラマの撮影        2 件

#### エ 施設等の貸出制限等

##### ○新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 4 月 1 日～11 月 10 日      利用施設、利用形態等による利用定員数の制限  
ホール、レセプションルームでの飲食や会食方法について制限  
交流サロンでの飲食禁止
- ・ 4 月 1 日～11 月 30 日      カラオケ設備の貸出停止
- ・ 4 月 1 日～12 月 28 日      図書・資料室の開室時間の短縮

##### ○外壁工事に伴う制限

- ・ 7 月 1 日～7 月 27 日の土曜日、日曜日、祝日を除く日の午前及び午後の区分  
ホール、第 1～第 5 会議室、料理室、特別会議室、特別応接室の貸出停止
- ・ 7 月 11 日～8 月 9 日の土曜日、日曜日、祝日を除く日の午前及び午後の区分  
レセプションルーム、交流サロンの貸出停止

### (5) 収支状況

ア 収入	232,670,302 円	(R3 232,728,398 円)
(ア) 指定管理料	192,005,000 円	(R3 194,840,616 円)
(イ) 利用料金収入	28,482,070 円	(R3 24,790,140 円)
(ウ) 事業収入	2,887,170 円	(R3 2,457,450 円)
(エ) その他収入	9,296,062 円	(R3 10,640,192 円)

イ 支出	239,174,836 円	(R3 224,552,562 円)
(ア) 情報収集・提供事業	2,367,147 円	(R3 2,193,978 円)
(イ) 広報出版事業	2,552,664 円	(R3 4,545,780 円)
(ウ) 研修事業	4,910,561 円	(R3 2,785,740 円)
(エ) 国際交流促進事業	1,536,242 円	(R3 1,281,888 円)
(オ) 外国人相談事業	24,075,538 円	(R3 24,257,616 円)
(カ) その他の事業	791,495 円	(R3 714,638 円)
(キ) 事業人件費	23,867,125 円	(R3 21,002,346 円)
(ク) センター管理費	179,074,064 円	(R3 167,770,576 円)

### (6) 広告の掲載

ア 広報誌「SIGNAL」への広告掲載	
・ 夏号 2 件	
・ 秋号 2 件	
・ 冬号 2 件	
・ 春号 2 件	合計 8 件 64,000 円
イ ホームページのバナー広告掲載	
・ 年間 6 件の掲載	合計 85,000 円

### ■個人情報の保護状況

川崎市個人情報保護条例（昭和 60 年 6 月 29 日条例第 26 号）をはじめとした関係法令を遵守し、指定管理者である公益財団法人川崎市国際交流協会・株式会社東急コミュニティー共同事業体の代表企業が定める「公益財団法人川崎市国際交流協会個人情報保護規程」及び「川崎市国際交流センター指定管理者個人情報保護規程」や、プライマシーマーク登録企業である構成企業が定める各種規定に基づき情報管理を徹底している。また、事務局内に個人情報保護管理者を置き管理運営を行うとともに、個人情報保護研修を例年実施している。

## ■利用者アンケートの実施

### (1) 利用者アンケートの実施

来館者の利用状況及び満足度や、キャッシュレス化等に対する意識を調査し、今後の施設整備等に反映させるため利用者アンケートを実施した。

令和4年度利用者アンケート結果

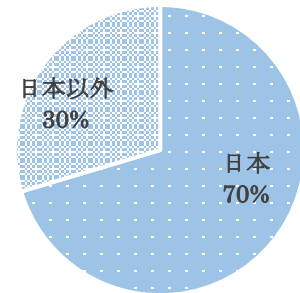
(実施期間) 令和4年10月10日(月)～令和4年12月31日(土)

(回答数) 206名

### ■利用者情報

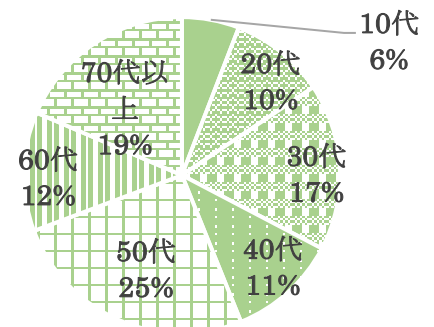
#### 1. 国籍 (人)

日本	145
日本以外	61



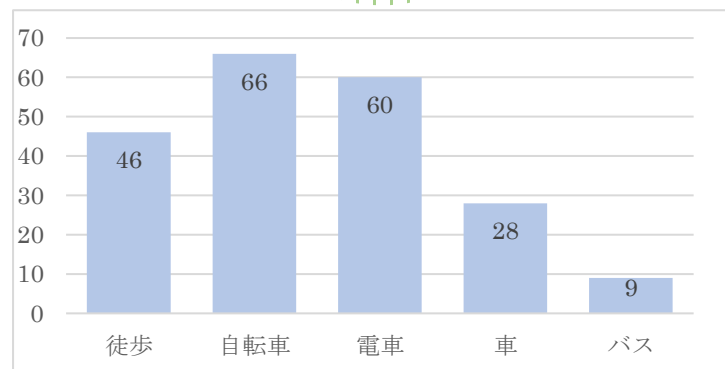
#### 2. 年代 (人)

10代	12
20代	20
30代	35
40代	23
50代	52
60代	25
70代以上	38
無回答	1



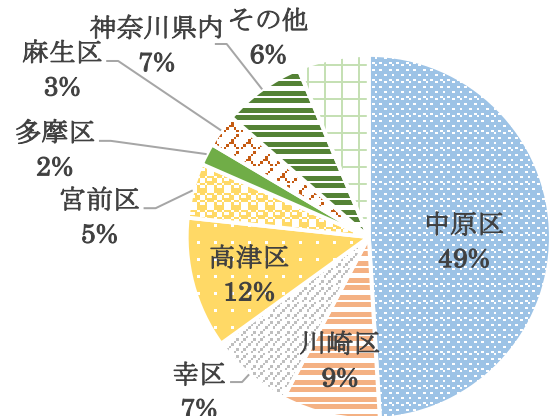
#### 3. 交通手段 (複数回答含む) (人)

徒歩	46
自転車	66
電車	60
車	28
バス	9



#### 4. 住まい (人)

中原区	101
川崎区	18
幸区	15
高津区	24
宮前区	10
多摩区	4
麻生区	6
神奈川県内	15

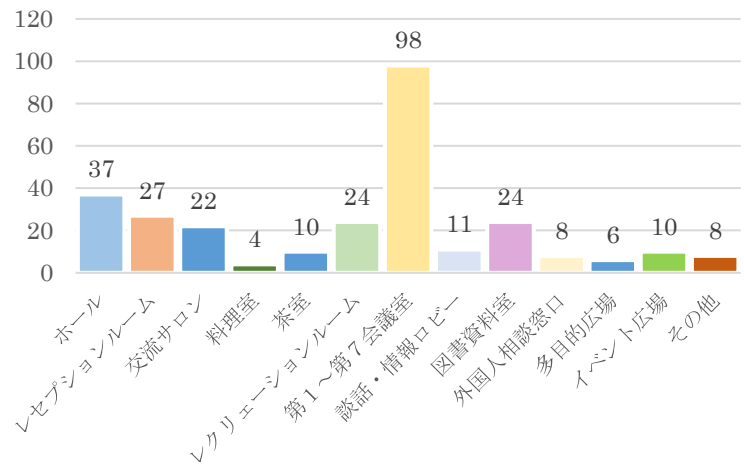


その他	13
-----	----

■施設利用状況について

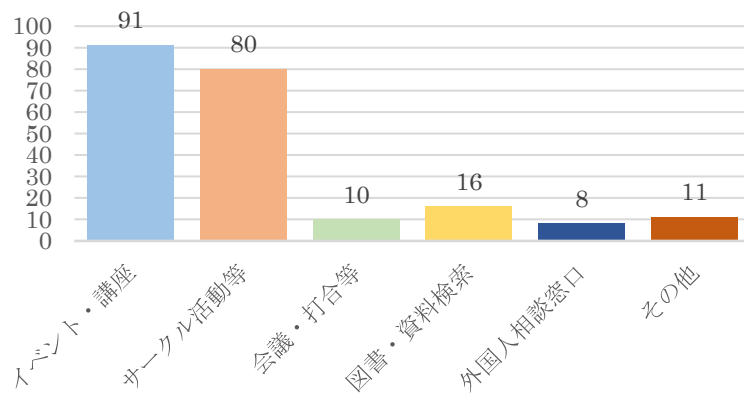
1. 利用の施設（複数回答可） (人)

ホール	37
レセプションルーム	27
交流サロン	22
料理室	4
茶室	10
レクリエーションルーム	24
第1～第7会議室	98
談話・情報ロビー	11
図書資料室	24
外国人相談窓口	8
多目的広場	6
イベント広場	10
その他	8



2. 利用目的（複数回答含む） (人)

イベント・講座	91
サークル活動等	80
会議・打合等	10
図書・資料検索	16
外国人相談窓口	8
その他	11
無回答	5

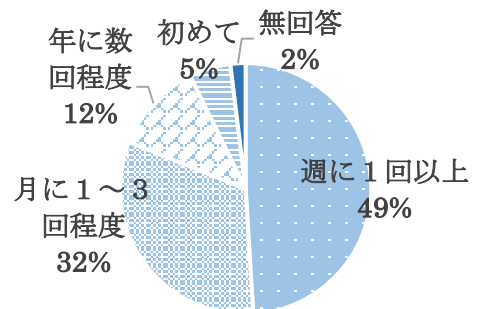


※その他

- ・マイナンバー申請
- ・散歩

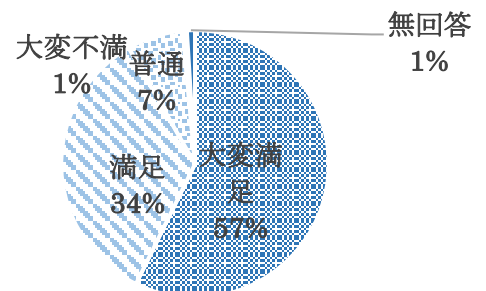
3. センターの利用回数 (人)

週に1回以上	101
月に1～3回程度	66
年に数回程度	24
初めて	11
無回答	4



4. スタッフの対応 (人)

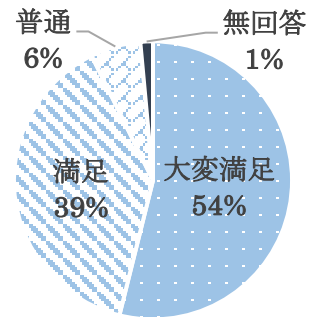
大変満足	118
満足	71



普通	14
不満	0
大変不満	1
無回答	2

5. 利用満足度 (人)

大変満足	111
満足	80
普通	12
不満	0
大変不満	0
無回答	3

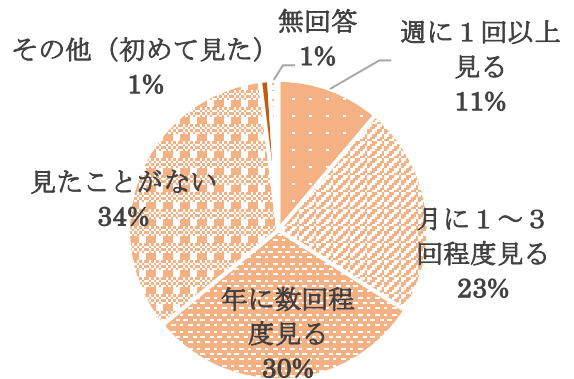


※大満足・満足の理由

- ・広いスペースで、落ち着いた感じが良い
- ・とても便利、充実している
- ・トイレの水が流れなかった時にすぐに対応してくれた
- ・広くて使いやすい
- ・清潔で消毒アルコールが設置してある、きれい
- ・清掃状況が良く、気持ち良く使える
- ・静かなので利用しやすい

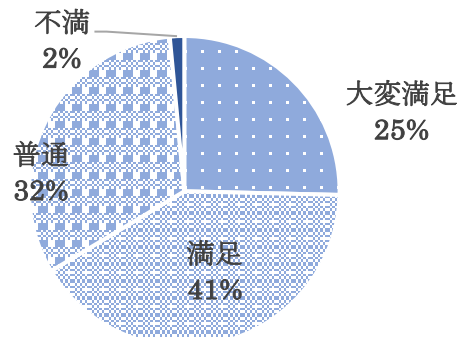
6. ホームページの閲覧頻度について

週に1回以上見る	23
月に1～3回程度見る	47
年に数回程度見る	62
見たことがない	70
その他(初めて見た)	2
無回答	2



7. ホームページの満足度

大変満足	34
満足	55
普通	43
不満	2
大変不満	0



※満足/大変満足の理由

- ・わかりやすい、親切である
- ・以前に比べて見やすくなった

※普通/不満の理由

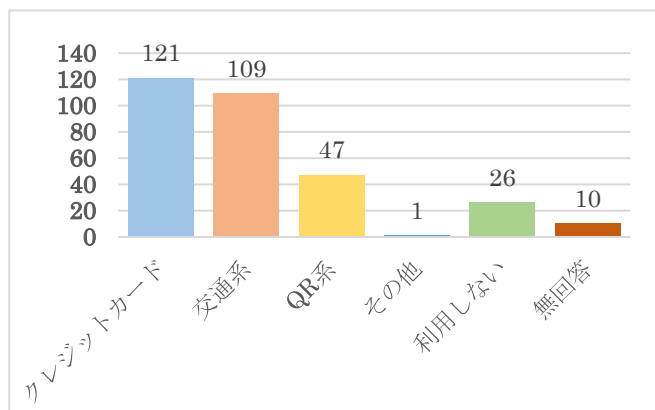
- ・イベントを探しにくい
- ・募集中のイベントをわかりやすく表示するような工夫がほしい

- ・抽選応募時の確認画面が使いづらい
- ・字が小さくて見づらい
- ・必要な情報が見にくい
- ・1度利用したが、よくわからなかった

## ■キャッシュレス化について

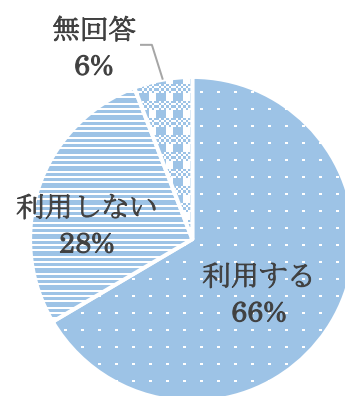
### 1. 主に利用している媒体（複数回答可）

クレジットカード	121
交通系 (Suica、PASMO 等)	109
QR系 (Paypay 等)	47
その他	1
利用しない	26
無回答	10



### 2. 施設利用料・講座受講料等でキャッシュレス決済を導入した場合、利用するか否か？

利用する	137
利用しない	57
無回答	12

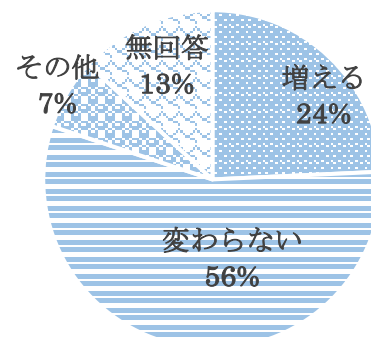


#### ※利用しない理由

- ・団体のクレジットカードが無い
- ・団体での利用のため、個人で支払いをしないので
- ・現金より面倒という印象がある
- ・トラブルの回避が困難と思われる
- ・キャンセルの時は現金の方が便利
- ・現金のほうが便利だと思う

### 3. キャッシュレス化した場合、自身のセンター利用回数は増えると思うか否か？

便利になり回数が 増えると思う	50
便利だけど利用回数は 変わらない	115
その他	14
無回答	27



#### ※利用回数が変わらないと思う理由

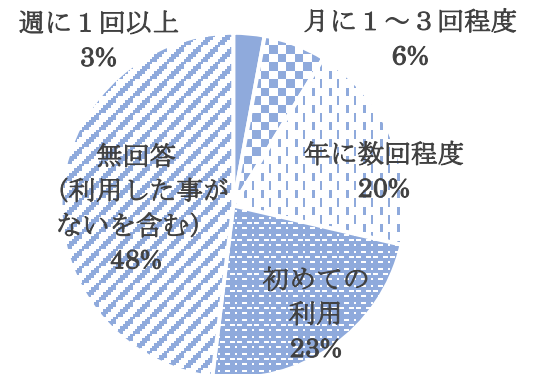
- ・予約数に限度があるので（2）
- ・場所がとれないので（2）
- ・遠いので利用回数は変わらない
- ・個人で利用しているわけではないので
- ・現金で支払えば良いと思う/現金で不便はない
- ・必要があれば利用するので、支払い方法は利用回数には関係ない
- ・利用目的は変わらないので特に利用回数は変わらない（5）



■ 図書資料室について

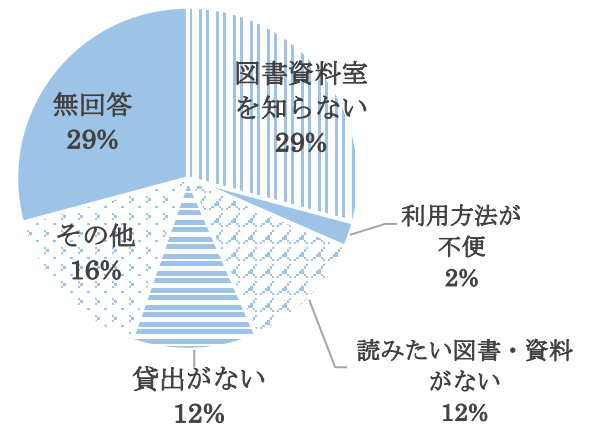
1. 図書資料室の利用頻度について

週に1回以上	6
月に1～3回程度	12
年に数回程度	41
初めての利用	48
無回答 (利用した事がないを含む)	99



2. 利用しない理由について (頻繁に利用しない理由も含む)

図書資料室を知らない	49
利用方法が不便	4
読みたい図書・資料がない	20
貸出がない	20
その他	26
無回答	49

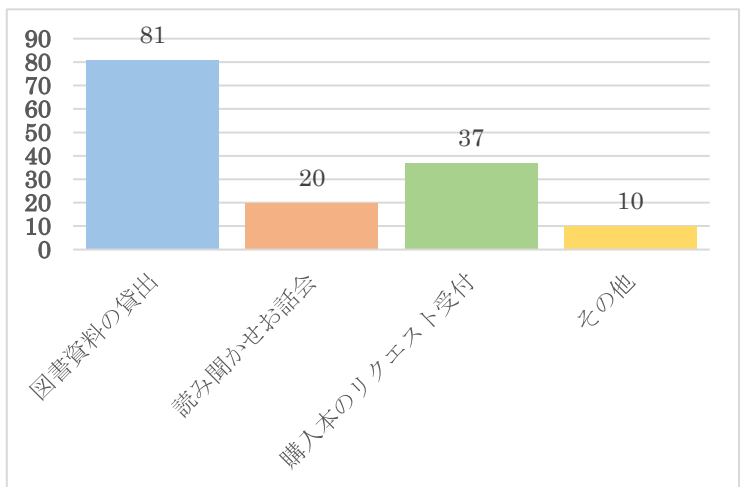


※その他の理由

- ・家から遠いため (6)
- ・本を読まない
- ・利用する必要がないので
- ・閉鎖的で利用しにくい
- ・暑い
- ・大学や近所の図書館を使用するため (2)
- ・講座、サークル等の目的で来館していて、時間が無いため (3)

3. あれば良いと思うもの (複数回答可)

図書資料の貸出	81
読み聞かせお話し会	20
購入本のリクエスト受付	37
その他	10
無回答	82



※その他

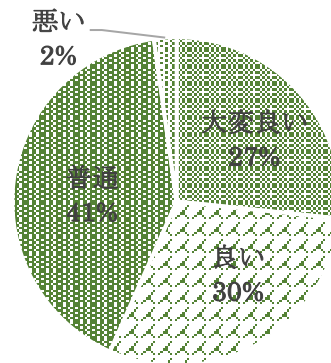
- ・語学講座のテキスト教材 (2)
- ・朗読会
- ・ベル等の演奏会
- ・日本語の会話例がのっている本

4. 図書資料室利用者の満足度

大変良い	24
良い	27
普通	37
悪い	2
大変悪い	17

※良い理由

- ・ テーマが絞られている
- ・ 良い本がある
- ・ 多用な言語やジャンルの本がある
- ・ 利用者が少なくゆっくりできる
- ・ 静か
- ・ 狭い空間だが使い方上手である



※普通、悪い理由

- ・ 入りにくい
- ・ 荷物の持ち込みができない

5. 図書室への意見、要望

- ・ 貸出を検討してほしい
- ・ 自宅では読めない、個人では購入しない新聞類があり、参考になる
- ・ 多言語の本を読めるのが良い
- ・ 子供向けのお話会だけでなく、大人向けの朗読会があると良いと思う (2)
- ・ PC を使える場所を作ってほしい
- ・ 勉強できる机の数を増やしてほしい
- ・ フランス語の本が少ない、アラビアの本、英語の本をリクエストしたい
- ・ 「ヨシタケシンスケ」の作品を入れてほしい

■センターへの意見、要望

- ・ 駐車場を以前のように無料にしてほしい
- ・ 駐車できない時間帯があり苦勞している
- ・ 駐車料金は、施設利用者にはもう少し長い時間を無料にしてほしい
- ・ バザー主催団体等がわからないので、バザーの案内を館内にはどうか？
- ・ 部屋貸出の抽選に当選しないことが多いのが不満
- ・ レクリエーションルームの予約がとりにくい
- ・ ダンスやバレエ教室のように子供たちが順番待ちをするような団体への貸出の時に、子供の控室をセットで借りるように指導してほしい。子供たちがロビーの椅子、机を全て独占してしまうため。
- ・ 子供がちょっとした遊びをできるものがあると良い
- ・ 夜、別棟への通路が暗くて怖い
- ・ 茶室に行台子があると良いと思う
- ・ 喫茶店がほしい、レストランを早く再開してほしい (2)
- ・ 最寄り駅からのアクセスが悪い。送迎バスなどを設ける事はできないか？ (2)
- ・ コピー機がほしい

- ・日本語講座の時間を長くしてほしい
- ・SNSによるお知らせをしてほしい

## (2) 外国人市民利用者アンケート

(回答数) 24 枚

	英語	中国語	韓国語	スペイン語	ポルトガル語	タガログ語	タイ語	インドネシア語	ネパール語	ベトナム語	日本語	
職業												
●学生	2											2
●会社員	3	2				2			1		2	10
●研修生・技能実習生・インターン												0
●パート・アルバイト	3					2						5
●主婦										1	1	2
●その他	1					1			1	2		5
住む場所												
●川崎区	3						1		1	2	1	8
●幸区		1										1
●中原区	4	1				4			1		2	12
●高津区												0
●宮前区	1											1
●多摩区										1		1
●麻生区												0
●横浜市	1											1
●東京都内												0
●その他												0
言語別合計数	9	2	0	0	0	4	1	0	0	3	3	24
日本に住む期間												
●6か月未満	2	1										3
●6か月以上～1年未満											1	1
●1年以上～2年未満	1									1		2
●2年以上	6	1				4	1		2	2	2	18
日本に住む予定期間												
●6か月	1											1
●1年	1											1

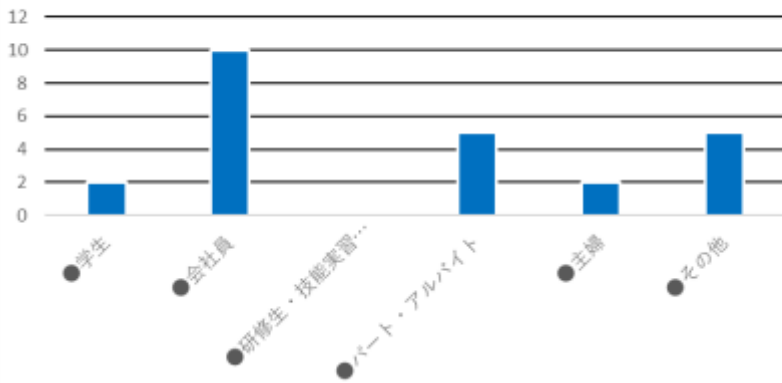
●2年	1											1
●3年以上	6	2				4	1		2	3	3	21
日本に来た理由												
●勉強	2	1							1	2	2	8
●仕事	3	2				3			1	2		11
●家族	5					1	1			1	1	9
●観光	1											1
●その他	1											1
日本の生活や手続きで困った事												
●ビザ						1				2	1	4
●区役所(税金・健康保険)	4					3			1		2	10
●銀行						1				1	2	4
●住居	2					2	1			2	2	9
●教育(学校など)	2					3			1	1	2	9
●子育て(保育園・学校)	3	1				1					2	7
●ごみの捨て方など生活関連	1	1				1					3	6
●モバイルの契約		1				1					1	3
●医療	3	2				1					1	7
●その他												2
言語	1											1
奨学金	1											1
国際交流センターを知ったきっかけ												
●インターネット	2	1							1		1	5
●学校	1											1
●会社										2		2
●知合い・友達	4					3	1		1	2		11
●区役所など行政機関	6	1				1				1	2	11
●その他	1											1
ハローワーク	1											1
国際交流センターを利用したことがあるか												
●はじめて利用した	5	2				1			2	3	2	15
●ある												0
*外国人相談	2					3	1				1	7
*日本語講座	2					2					1	5

*イベント	1											1
*施設(図書資料室や会議室など)	1											1
どんなイベントや講座に興味があるか												
●外国の文化の紹介	2							1	2			5
●生活情報	9	2			3			1	3	2		20
●日本の伝統文化や季節の行事を学ぶ・体験する	6	2						1	2	2		13
●その他	2				1							3
家族イベント	1											1
日本語勉強したい	1											1
ボランティアやスタッフとしてイベントや講座に参加してみたいですか												
●はい	8					1				1	1	11
*どんな事をしたいですか	イベント ボランティア、イベントの参加 文化、社会、スポーツ											
●いいえ	1	2				3			2	2	2	12
本日来館についての満足度												
●とても満足	8	2					1		1	3	3	18
●満足	1								1			2
●普通						4						4
●不満がある												0
●その他												0
来館の交通手段(来訪者のみ)												
●電車	4	1					1			1	1	8
●バス									1			1
●徒歩	3	2							1		1	7
●自転車	2					4				2	1	9
●シェアサイクル												0
●車	1											1
Zoomでの相談を選んだ理由(Zoomのみ)												
●便利												0
●顔が見える安心感												0
●来館時間や交通費の節約												0
●電話代の節約												0
●その他												0

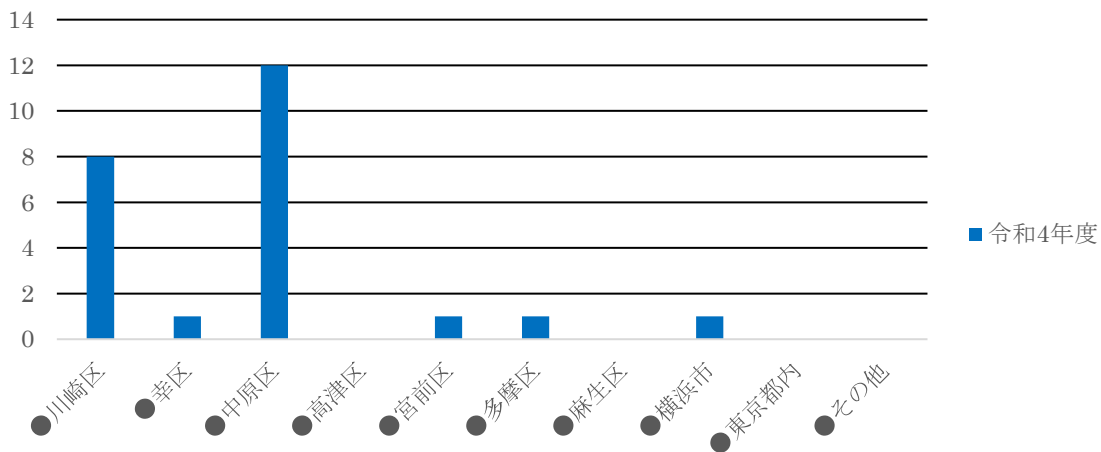
## 意見・要望

- とても親切でサポートも厚い。
- すべての外国人にこのセンターに一度訪ねることを勧める。
- 本日は助けてくれてありがたい。
- センターのサービスは外国人にとっても役立つ。
- 私たち外国人でも相談もできて、日本人と同じように施設のサービスを使って過ごせる所があって、本当に良いと思う。

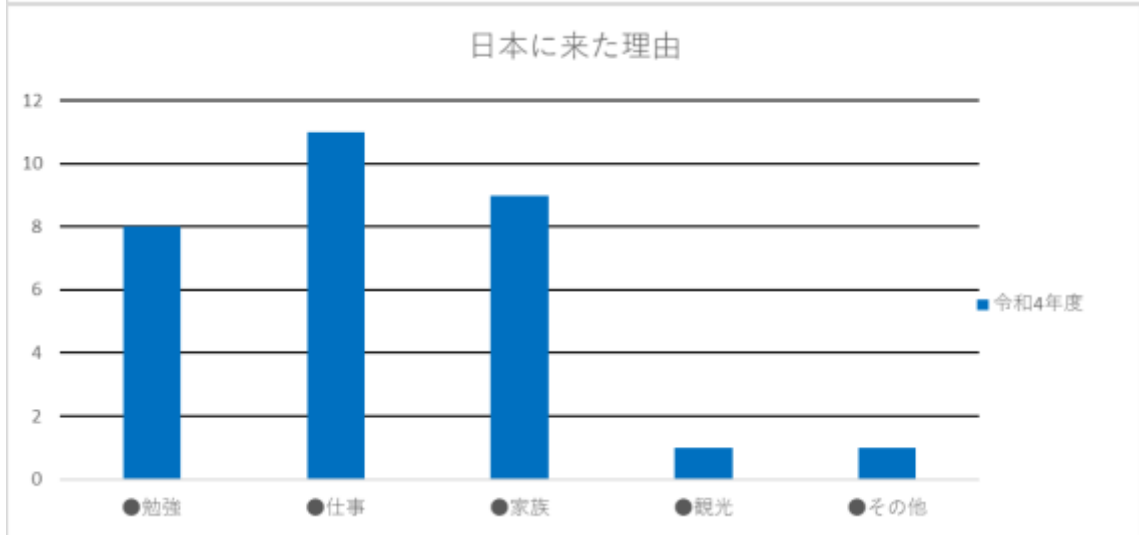
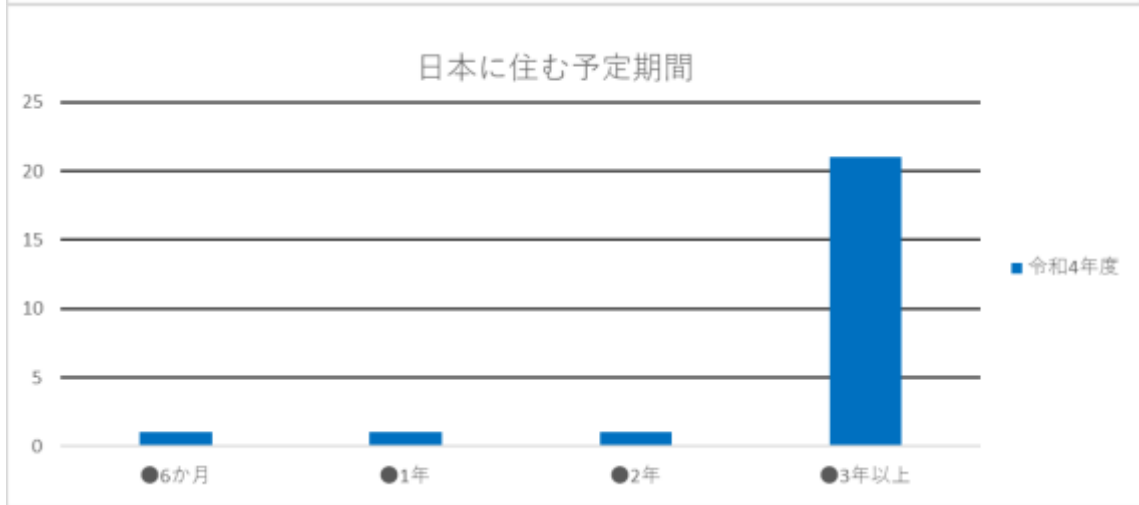
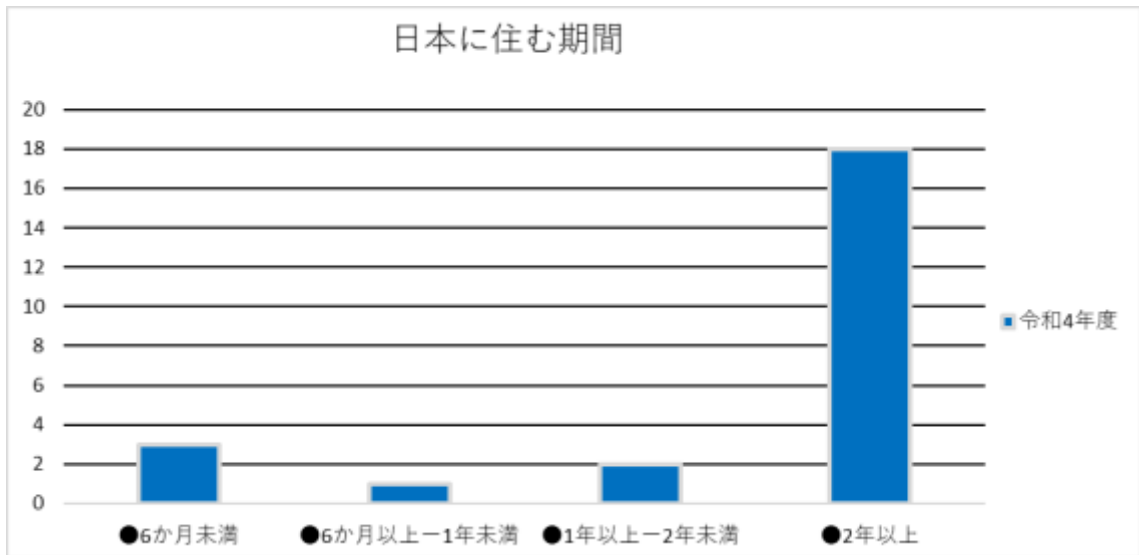
### 職業



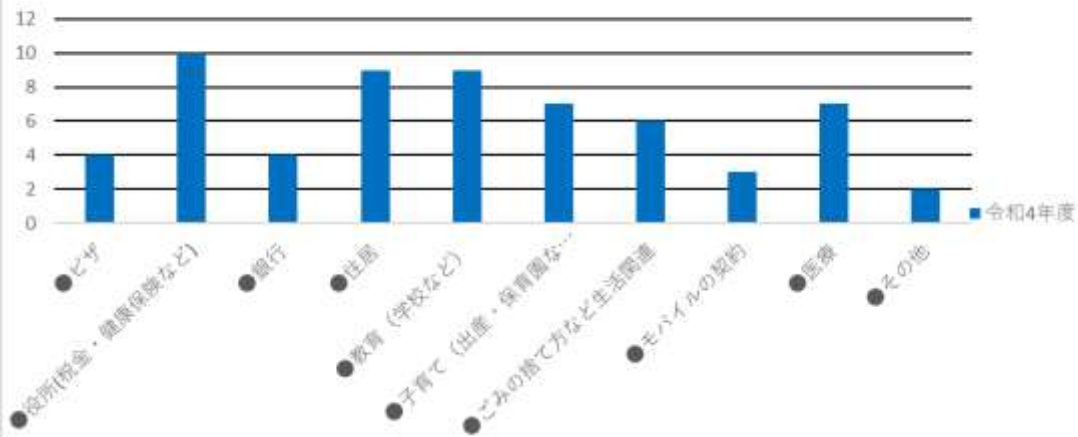
### 住む場所



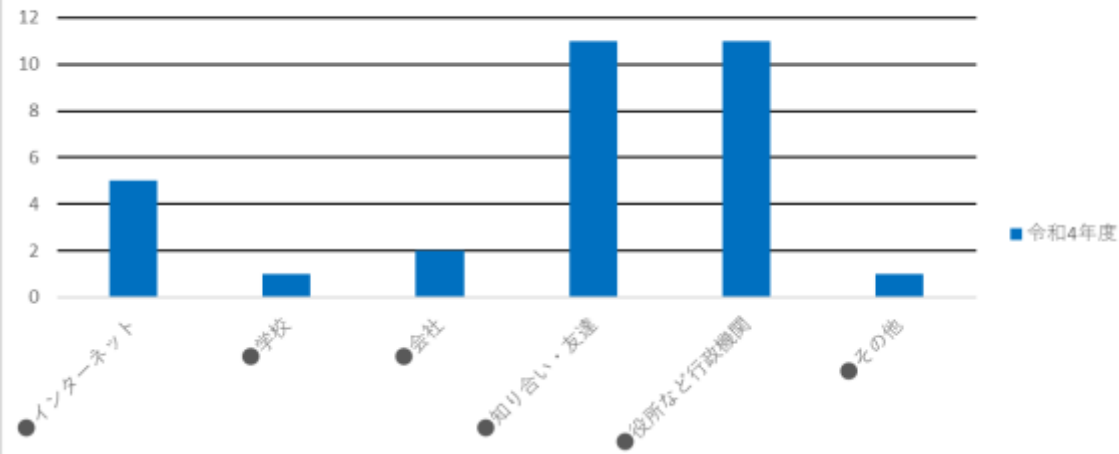




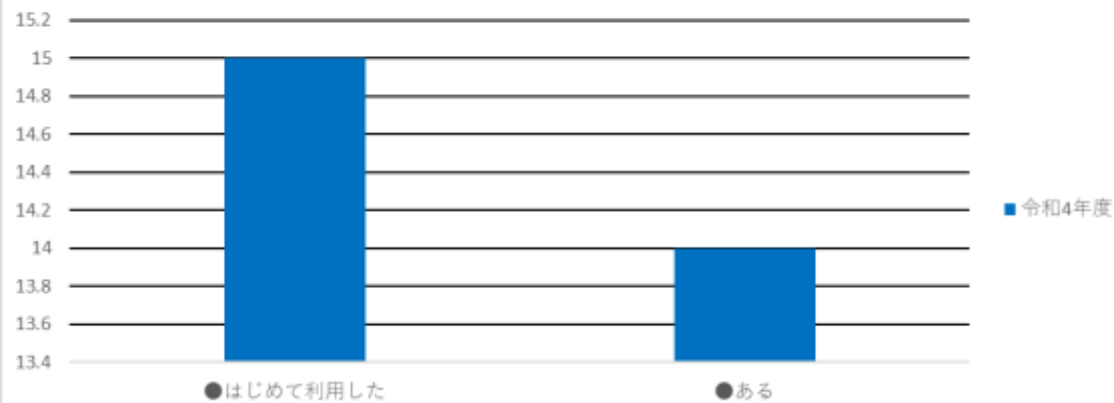
### 日本の生活た手続きで困った事

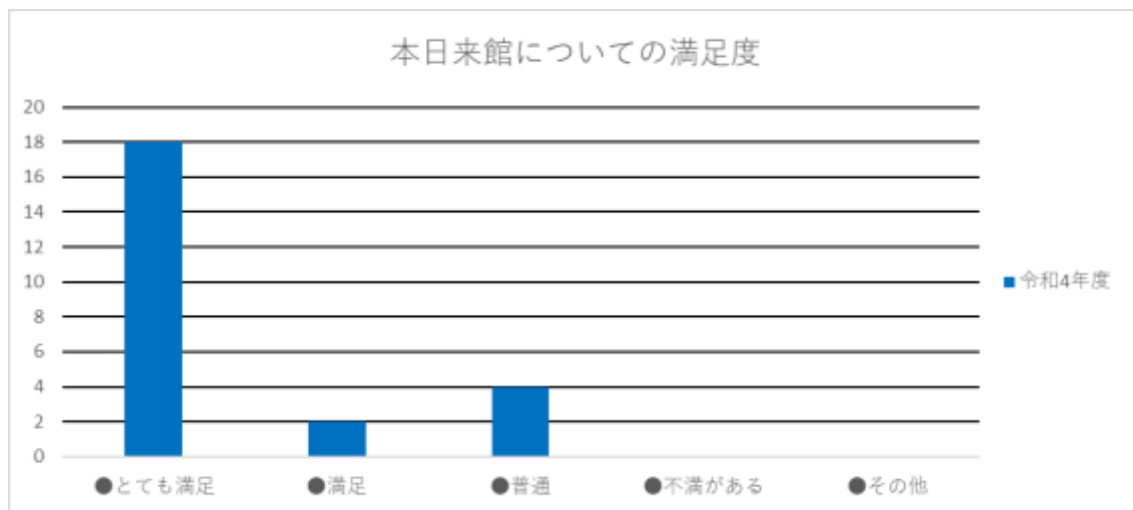
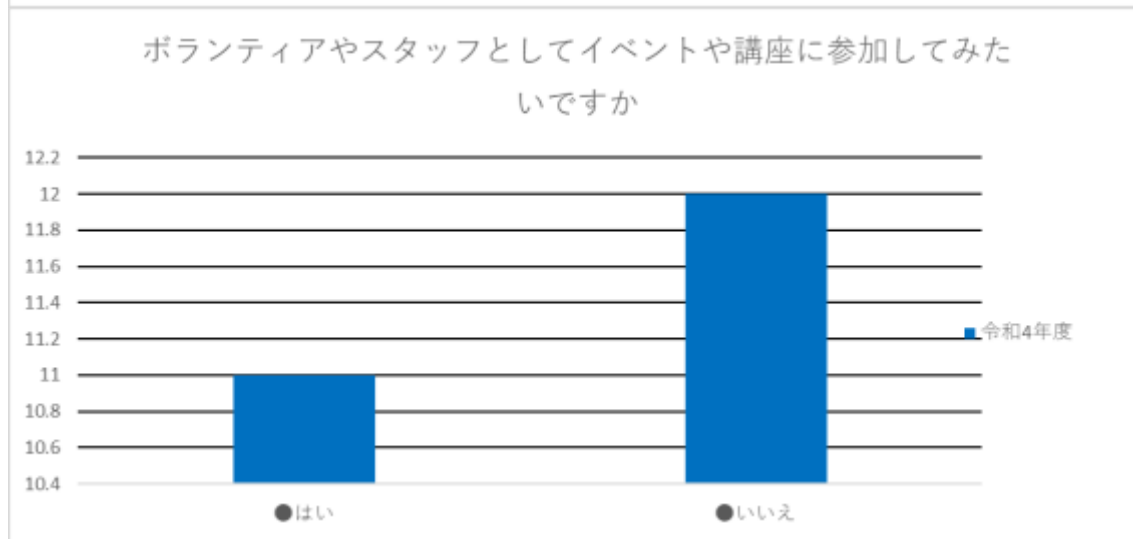
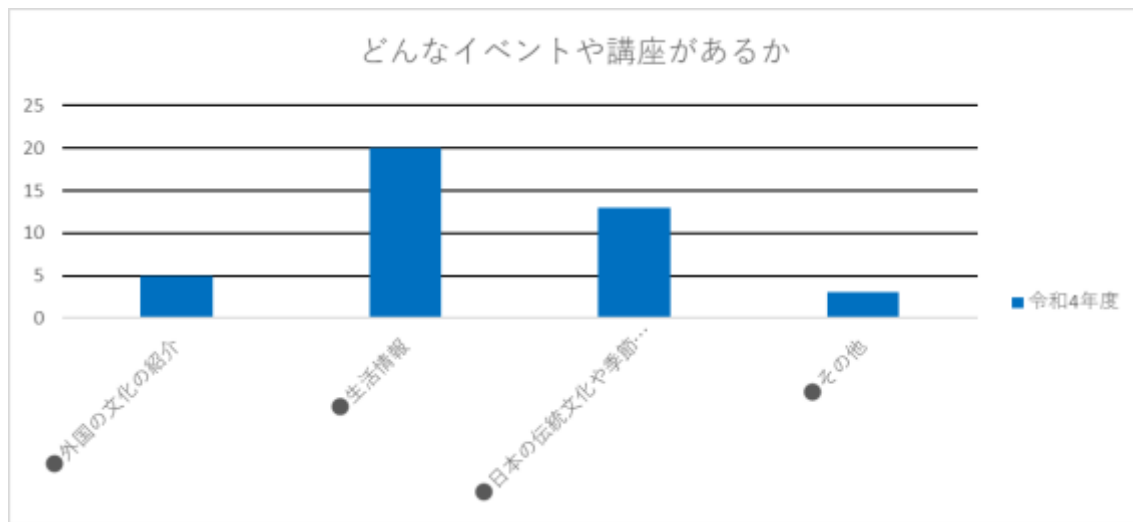


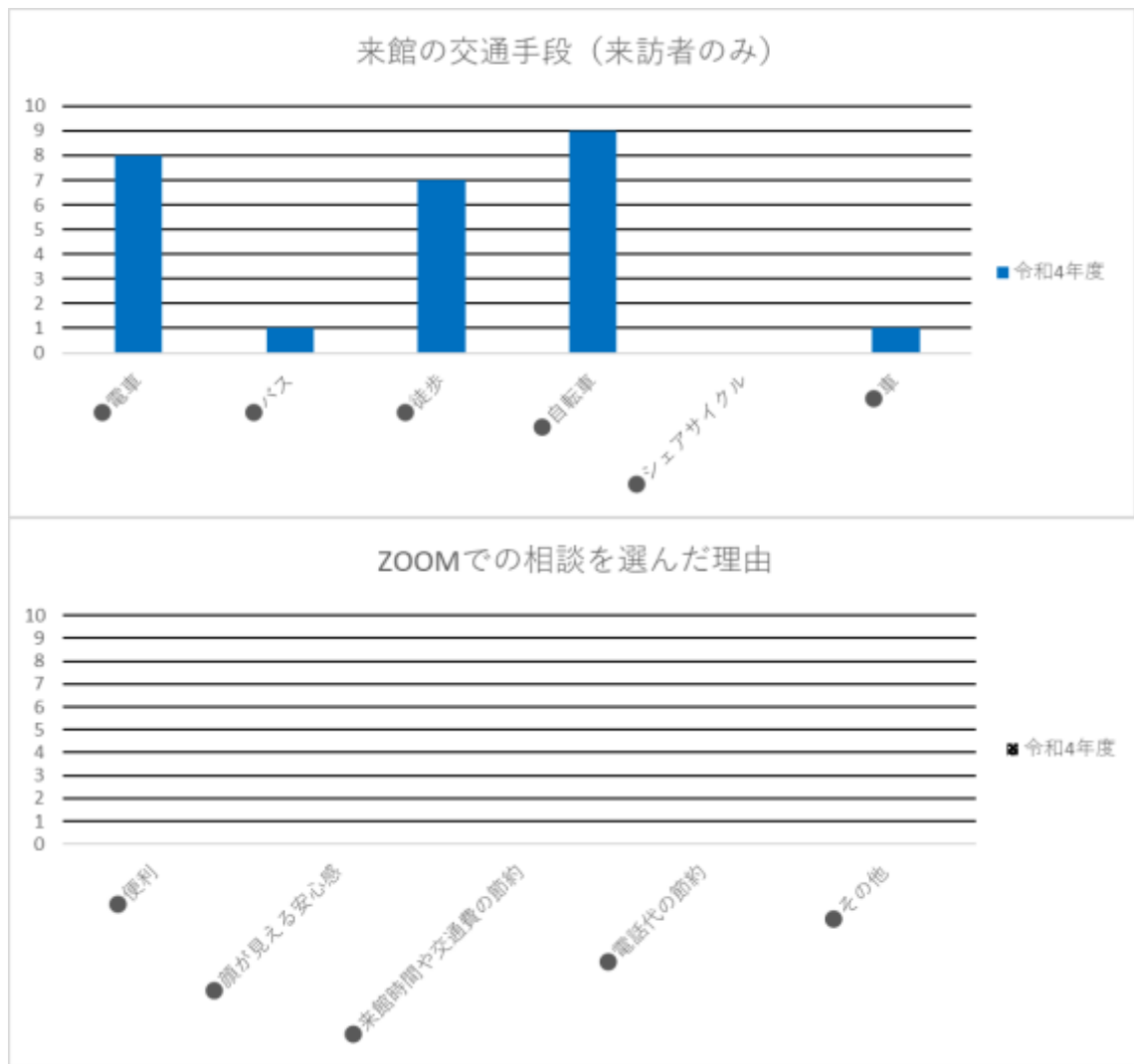
### 国際交流センターを知ったきっかけ



### 国際交流センターを利用したことがあるか







## ■利用者等からの意見などに対する対応状況

利用者等からの意見など	対応状況（改善内容）
4月26日 近隣住民から、草刈りをしている作業員がマスクをしていないのはいかがなものかとの意見が寄せられた。	確認したところ、距離を取り会話することもなく作業しており、人が近づけばマスクを着用することとしており、この時期マスクを着用して作業することで熱中症の恐れがあるため屋外では外しているものであった。
6月28日 近隣住民から、多目的広場で犬を散歩させているのを見かけるが、リードをはずしドッグランのように犬を走り回らせている。危険なので注意して欲しいとの連絡があった。	警備担当の巡回の際などに同様の行為を見かけたら注意をすること、また、併せて多目的広場には犬等のペットを入れないように立て看板により周知を行った。
7月5日 利用者から、各利用区分（午前、午後、夜間、）間の1時間は必要ないと思うが、市民館等も含め公共施設全体で考えて欲しいとの意見が寄せられた。	区分間の時間では、清掃など必要な作業を実施していることなどを説明し、納得いただいた。苦情ではなく、いろいろな意見を聞いて欲しかったとのことであった。

7月13日 近隣住民から、国際交流センターの駐車場に停車しているマイクロバスが、エンジンをかけたまま長時間停車しているが、川崎市はアイドリングストップではないのかと苦情が寄せられた。	国際交流センターホテル利用者のマイクロバスと確認し、運転者に対し駐車場ではエンジンを切るように注意をした。
8月24日 利用者から、国際交流センターの駐輪場の自転車の止め方のマナーが悪いので、貼紙などをしてマナー向上につながる工夫をしてほしいとの意見が寄せられた。	現地確認し、8月25日に施設管理担当により駐輪場にマナー向上のための貼紙を貼付した。後日、意見をいただいた方から、対応のおかげで駐輪しやすくなったとの言葉があった。
8月25日 近隣住民から、イベント広場他の通路に様々な色の風船が何か月も放置されているが、汚らしいので処分できないかとの意見が寄せられた。	ペイントされている石のことと思われ、施設管理担当が敷地内に放置されていた14個を回収し、倉庫内に保管することとした。
11月14日 近隣住民から、当日のホール利用において防音設備が不足しているにも関わらず、カラオケ機器の音量が酷く大きいとの苦情がメールにて寄せられた。また、併せて楽器演奏での音についても、音量調整が難しいことは理解できるが、利用の時間などについて配慮するよう意見が寄せられた。	メールにてお詫びするとともに、カラオケ機器を使用したホール利用については今後不可とする等の利用方法の制限強化などを行うことを連絡した。また、楽器演奏での利用については対策や制限等を設けホームページで周知することとした。
12月12日 近隣住民から、特別会議室側の駐車スペースに設置されている鎖が危険なので外してほしいとの意見が寄せられた。	施設管理担当で確認し、今後は鎖を外すこととした。意見を寄せた近隣住民が来館し、さっそく対応したことに対するお礼があった。
3月22日 16時45分ごろ、近隣住民から、センターから流れてくる音楽がうるさいので外に出て確認して欲しいと電話連絡が寄せられた。また、19時30分にも、近隣住民が来館し、ホールからの音がうるさいため音量を下げしてほしい旨の連絡があった。	確認したところ、音漏れも大きかったため、ホール利用者に対し音量を下げるように伝えた。19時30分ごろに、再度、舞台担当と受付担当にて音量を下げるよう注意を実施した。 今後、同じような音を出す内容での利用は許可できない旨を利用者に伝えた。
令和4年度については、施設の長寿命化のための外壁工事が実施され(5月~12月)、工事に伴う大きな音、振動、臭気のため施設利用者などから多くの苦情や意見等が寄せられた。	大きな音や臭気が想定される期間については、あらかじめ利用貸出しを停止するとともに、ホームページや館内への貼紙で工事について周知を行った。個々に対応等が必要な場合には、施工業者等と調整しながら、工事の停止、中断や工事内容の変更などを行った。
ホール及びレセプションルームを楽器演奏で利用することが増えており、近隣、他のセンター施設利用者及びセンターホテル利用者から音に対する苦情等が寄せられることが多くなってきた。	令和5年1月4日からの新規利用申込みから、レセプションルームを楽器演奏で利用することは原則不可とし、ホールについても楽器演奏での利用に際しての注意事項をまとめ、ホームページ及び受付でのチラシ配布により周知を行った。

## ■施設管理運営における事故等の対応状況

月 日	内 容	対 応
4月1日	17時ごろ、センター前ポストの鍵穴に何かを入れられ鍵が開かなくなったため、ドライバーを借りて郵便局の集配担当が来館した。	施設設備担当より工具を貸し出し、異物を除去できたため、集配作業を完了することができた。
4月7日	14時55分ごろ、小学生女子から男子が多目的広場近くの通気管によじ登っているとの連絡があった。	受付担当が現場を確認し、男子3名に対し注意を行った。

4月14日	8時45分ごろ 開館準備を行うため受付ブース内のテーブルを移動させている際に、テーブル上にあったふれあいネット利用カード作成用カードリーダーを誤って落下させ破損してしまった。	11時ごろ、川崎市のふれあいネット担当課により代替機器と交換してもらったが、その間カード作成依頼はなかったため市民サービスの低下とはならなかった。開館準備等の際には状況を確認しながら慎重に作業するよう指導徹底するとともに、カードリーダーの設置場所について配慮し、周りに落下防止ガードを付けるなどの対応を行った。
4月19日	14時ごろ、施設利用者から駐車場入り口遮断機のバーを折ってしまったとの届け出があった。	現場を確認し、利用に支障がないよう予備のバーを設置した。当該者には同等品を納入するよう依頼した。
4月20日	16時30分ごろ、レセプションルーム利用者から、姿見を移動しようとした際に倒してしまい、鏡が割れて子どもが手を切ったとの連絡があった。	職員がケガの状況を確認したところ、指先の切り傷で大きなケガではなかったため、応急処置を行った。切り傷手当。施設設備担当等で破損した鏡の片づけ、清掃を行い、利用可能な状態とし、その後再度レセプションルームを利用した。講師が目を離した際に子どもが移動しようとしたもので、今後利用する場合には十分注意するよう依頼した。
4月30日	17時20分ごろ、1階第2会議室横の女子トイレで盗撮されたと利用から受付へ連絡があった。	施設管理担当へ連絡し、館内を巡回するとともに、17時30分中原警察書へ通報、17時40分に警察官が到着し、現場、防犯カメラ等の確認作業を行った。館内に「不審者注意」の貼紙を掲示するとともに、巡回警備を強化することとした。
6月16日	9時35分から1分間ほど停電となった。	館内共用部に館内放送を実施し、各利用施設について職員が手分けして安全の確認を行った。エレベータについても閉じ込めがない旨確認を行った。非常発電装置への連携に障害があると思われるため休館日に修繕を行う。
8月14日	17時ごろ、多目的広場利用者から地面に釘やネジが刺さっており、危険な状況であると受付に連絡があった。	施設管理担当が地面より下に埋まっていた釘等について全て撤去した。ゲートボール利用者が目印のために打ったものであり、釘やネジは返却し、次回からは毎回撤去するよう依頼した。
10月14日	19時30分ごろ、第2会議室利用者から展示ロビーからプロムナードまでの床面に墨汁を点々とたらしてしまい、また、展示ロビーで使用中の展示パネル4枚にも墨汁を付けて汚損してしまったと受付に連絡があった。	石材部分については施設設備担当で拭き取り即時除去できたが、タイルカーペット部分は染み込んでおり拭き取りできないため、後日少しずつ高圧洗浄で墨を除去するとともに、カーペットタイルを並び替えるなどの対応をすることとした。展示パネルについては表面クロス張替が必要であるため、当該者に費用負担を依頼した。
10月30日	21時ごろ、レセプションルーム利用者がレセプションルーム側出入口から外に出たところ、段差に躓き膝に怪我をしたと受付へ連絡があった。	受付担当から謝罪するとともに傷絆創膏を渡した。外壁工事のため足場が設置されており、狭く暗いため工事施工業者へ仮設照明設置を依頼するとともに、安全対策のため、現地に「段差注意」の張り紙とカラーコーンを設置した。外壁工事完了後、レセプションルーム出入口近辺へ照明増設工事を実施した。



11月13日	12時30分ごろ、利用者からガラスが割れるような音がした後、ホテル3階の窓ガラスが割れ、レセプションルーム側出入口の外側に破片が散乱しているとの連絡があった。	確認したところ負傷者等はおらず、施設管理担当が付近の通行禁止措置及び破片の撤去を行った。部屋のドアを開けた際に、窓が開いていたため勢いよく閉じてしまったため発生したようであった。11月15日修繕が完了し、通行が可能となった。
12月22日	17時40分ごろ、玄関前広場で遊んでいた中学生4名から、木を折ってしまったと受付へ連絡と謝罪があった。	施設設備担当にて折れた木を撤去した。中学生4名に対しては、職員から今後このようなことがないように注意をした。
3月2日	20時30分ごろ、ホールの利用者からホワイエに置いていた未乾のアクリルペイントの作品に観覧者が足を踏み入れ、ホワイエを歩いたためタイルカーペットを汚してしまったと連絡があった。	現場を確認し、損傷報告書を提出してもらい、利用者に対して注意を行った。施設設備担当がタイルカーペットを予備のものと交換対応した。
3月3日	3月9日に施設利用予定者が来館し、キャンセルして事前入金した利用料の返金手続きを行いたい旨が領収書を紛失した旨の申し出があった。	領収書と入金控が揃わないと返金できないとしているが、事前入金が行われていること、キャンセル料が発生しないことをそれぞれ確認し、領収書にかわる返金申請書を別途作成し記載してもらうことで返金可能とした。